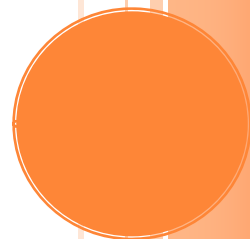


平成26年度南部町教育 委員会の事務の点検及び 評価報告書

《 平成 25 年度実績 》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、教育に関する事務が南部町教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価し報告するものです。



目 次

○まえがき	……………P. 2
○点検評価アドバイザーによる意見	……………P. 3
○点検及び評価の概要	……………P. 6
○事務事業の点検及び評価とは	……………P. 7
○南部町教育方針	……………P. 8
1. 学校教育指導の方針と重点	……………P. 9～12
2. 社会教育指導の方針と重点	……………P. 12
3. 文化財保護行政の方針と重点	……………P. 13
4. 学校給食重点目標	……………P. 13
○教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧表	… P. 14～16
○事業毎個別評価の観点	……………P. 17
○事業毎個別評価表	…………… P. 18～59
○教育委員会活動の状況	……………P. 60
1. 教育委員会委員構成	……………P. 60
2. 教育委員会の活動概要	……………P. 60
3. 教育委員会会議	……………P. 60～63
○教育委員会事務局の組織の状況	……………P. 64
1. 教育委員会機構図	……………P. 64
2. 教育委員会事務分掌	……………P. 65～66
3. 教育関係予算の状況(決算)	……………P. 67
○町立小・中学校の「特色ある学校経営事業」の目的と実績	… P. 68～79

平成26年度南部町教育委員会の事務の点検 及び評価報告書

《 平成 25 年度実績 》

◆ まえがき

南部町教育委員会では、「豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、心身ともに健康で豊かな情操と優れた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努め、学習環境の整備に取り組んでいます。

こうした取り組みは、これまでも広報誌などを通じて町民の皆様にお知らせしてきたところですが、平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされました。

このため、南部町教育委員会では、今後の効率的で効果的な教育行政を推進し、町民の皆様へ説明責任を果たすことを目的に外部の学識経験者などから意見を伺いながら、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、このたび、その結果を報告書としてまとめました。

南部町教育委員会では、今後も「個を生かし生きる力と学ぶ力や夢をはぐくむ学校教育の推進」「生きがいのある人生と、豊かで住み良い地域社会を実現する社会教育の推進」「未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用」を目指し、地域の伝統と特性を生かした教育行政の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年7月 南部町教育委員会

点検評価アドバイザーによる意見(平成 25 年度分)

平成 25 年度の教育委員会の事務事業について、6 回に渡って各担当者と点検し、評価を頂きました。

総評として、両アドバイザーから、次のようなご意見を頂きました。

南部町の教育行政における教育委員会の「事務の点検及び評価報告書」を拝見いたしました。このことで、所見の一端を述べさせていただきます。

● 初めに

事務事業の執行に当たっては、町の目指すべき将来像を定めた「総合振興計画」及び「教育方針」を念頭に置きながら、系統的に関連付けると同時に、創意工夫をし、その内容の充実に努めることが大切である。

1. そこで、当町での事業は、町民のニーズがよく集約されており、その内容もマンネリ化の防止やスリム化を図るなど、検討のうえ改善されてきている。

その上で、職員には事業に対する構えに敬意を表したい。

2. 「特色ある学校経営事業」に対して町独自の支援財源を向けていることは、町の並々ならぬ意欲が見える。

この事からも、学校は、学校間、職員間の共通理解をもとに、学習指導要領から「不易と流行」を読み取り、「不易」なる事項への重点化と「流行」とのバランスを図る事が大切である。

3. 「子育ては、社会総がかり」であることへの「啓発活動」と、住民意識を高めるための、学校と地域の協働による「生涯学習社会」づくりの推進が重要である。

● 具体的には

1. 事業を照し合せた時に、重複していると思われる事項があり、更に精査する必要があると思われる。
2. 継続事業については、これまでの評価と当該年度の対比による、考察をもとに再確認する必要がある。
3. 学校の施設管理については、学校の教育環境をいつも整えておく意味から、先を見た予算編成でありたい。
4. 児童・生徒への「生きる力」を育むには、「基礎的な学力の向上」に対する手当が十分になされているかが重要である。

5. 社会教育関係施設の職員は、施設間のコミュニケーションの場を持ち、相互の意見交換と連携を図ることが大切である。
6. 個別評価表の記入に当たっては、担当部署に於いて、評価基準となる事項をよく理解の上、検討され適切に記入することが大切である。

● 終わりに

1. 事業全般に於いて、「評価と方向性」の記述では、それぞれ問題点となる内容を把握している事から、今後の取組みに期待を持ちたい。
2. 生涯学習事業については、町民のニーズの吸い上げと連携・地域のコミュニケーションを深めることで、一層の充実を期待したい。
3. 学校教育・家庭教育・社会教育が深く連携を図ることで、「特色ある教育活動」が作り出され、その事が町の活性化を促すと同時に町の発展につながると考える。

平成26年7月11日

南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー

赤 平 實

点検評価アドバイザーによる意見（平成25年度分）

1年間の事務事業は、「総合振興計画」を受けて策定された「教育方針」の学校教育及び社会教育の「指導の方針と重点」に基づいて実施されていますが、その事務事業の「点検及び評価」を拝見し、担当者から説明を聞きました。限られた予算の中で、職員の献身的な事業の執行により、学校教育、社会教育ともに効果的に事業が展開されていることに敬服します。

そのうえで、次のような意見を、参考までに述べさせていただきます。

町の教育の1年間の方向づけをする「教育大会」や、社会教育委員、公民館運営審議会などの各種委員会の審議状況についての点検・評価も行い、総合的な教育振興に努めて頂きたい。

- 学校教育の面では、児童生徒の学習レベルの向上を図るとともに、将来、南部町に「戻りたくなる教育」、「戻ってくる人材育成」のために、教員の育成、教員の質の向上を図ることが大切です。

そのためには、町外の教員が、南部町の学校で教育をしたくなるような「環境づくり」に力を入れ、優秀な教員の人材を確保することが必要です。

また、町費負担のスクールサポーターの業務時間を多くし、児童生徒の援助、教員の支援を深めて、それぞれきめ細かな学習指導ができるようにすることも一考してほしい。

- 社会教育では、利用者(参加者)の要望を集約しながら事業を展開していますが、関連性のある事業も見られるので整理・統合し、あるいは、それぞれを個別化し特殊性や特色を持たせるよう研究してほしい。

社会教育関係団体等各種団体の補助金(助成金)については、その必要性の根拠を明確にする。また、補助(助成)するだけでなく、適切に指導・助言をすると共に、点検・評価も実施することが必要です。

長年継続されている事業で、効果の上がっている事業、継続がさらに望まれている事業でも、改善・工夫の余地があるので、吟味しながら継続する。特に町づくり、地域づくりの観点から一考する余地があります。

「趣味の講座」、「南部ふるさと塾」等に長く参加されて経験や知識の豊富な町民をボランティアの「社会教育活動支援員」として、又は講師として登用することを念頭においた人材発掘・人材育成も重要な事業です。

- 最後に、報告書の作成に当たっては、報告書は町民に公開するものですので、専門用語はできるだけ避け、分かり易い文章・語句で表現してください。

平成26年7月11日

南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー

庭田 卓夫

点検及び評価の概要

1 経 緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成19年法律第97号)により、平成20年4月1日から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出、公表することとされました。

2 点検評価の対象

南部町教育方針にある教育施策の重点に基づいて行う事業

3 点検評価の方法〈内部評価〉

(1) 事業担当部署による点検及び評価

- ・ 各事業担当部署が実施状況をまとめて評価

(2) 教育委員会による点検及び評価

- ・ 各事業担当部署が評価したものを、事業の妥当性について評価

4 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験者等を「点検・評価アドバイザー」として委嘱し、点検・評価の実施方法や内容について意見をいただいております。

5 点検・評価アドバイザー

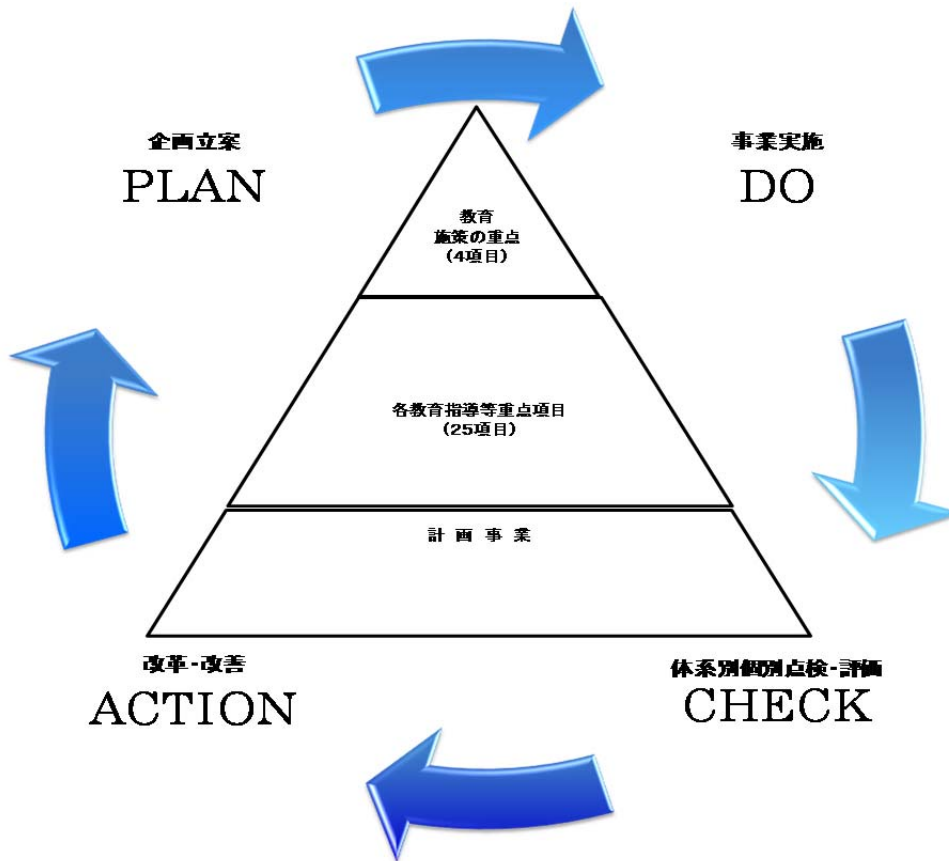
氏 名	団 体 ・ 役 歴
赤 平 實 氏	元南部町教育委員会教育委員長・元階上中学校長
庭 田 卓 夫 氏	元南部町教育委員会参事学務課長

(1) 点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・ 第1回会議 平成26年4月25日開催
- ・ 第2回会議 平成26年5月13日開催
- ・ 第3回会議 平成26年5月30日開催
- ・ 第4回会議 平成26年6月13日開催
- ・ 第5回会議 平成26年6月26日開催
- ・ 第6回会議 平成26年7月11日開催

事務事業の点検及び評価とは

事務事業の評価は、教育委員会が行っている事業について、点検と評価を行い、必要に応じて事業の取り組み方法等を見直して、今後の仕事の取組みにいかしていくものです。



事務事業の企画立案(PPLAN)、事業実施(DO)、点検・評価(CHECK)、改革・改善(ACTION)を継続して行うことで、より効果的で質の高い事務事業の実現を図っていきます。

南部町教育方針

◇ 基本理念

教育はひとづくり、人づくりはまちづくり

◇ 基本方針

南部町教育委員会は、青森県教育委員会及び三八教育事務所、関係機関、諸団体との連携を図り、豊かで潤いのある生涯学習の形成に向けて、「心身ともに健康で豊かな情操とすぐれた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努める。

◇ 教育目標

1. 町民の連携意識を高めながら、豊かな心と広い視野を持ち、積極的に郷土の発展に貢献することのできる品性豊かな町民の育成に努める。
2. 時代の変化に対応しながら、自分の生活に目標を持ち、豊かな情操と創造力・実践力を磨きながら生涯学び続け、社会参加のできる町民の育成に努める。
3. スポーツに親しみながら、自分の体力と健康に関心を持ち、自主的に健康で安全な生活を営むことのできる町民の育成に努める。

◇ 教育施策の重点

1. 学校教育においては、主体的な学習態度を育て、基礎的・基本的学力の定着や考える力を身につけさせ、夢を育む教育を推進する。
また、町内小中学校へ「特色ある学校づくり」のために町独自の支援を行う。
2. 社会教育においては、学校と地域の協働による教育活動と家庭教育の充実に努める。
3. 社会体育においては、スポーツ活動の振興やニュースポーツの普及と実践化を図るとともに、日常生活での体力づくりを推進する。
4. 文化活動においては、芸術文化活動の奨励や育成を図るとともに伝統文化の継承育成や未来に伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

【学校教育指導の方針と重点】

1. 方針

知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな幼児・児童・生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校経営に創意工夫をこらし、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等に主体的に取り組み、確かな学力を身に付けることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

ア 基礎的・基本的内容に即した教材の工夫と教材研究の深化

イ 個に応じた学習過程と評価を重視した指導の工夫

ウ 自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する力を身に付ける指導の工夫

エ 主体的・体験的な学習のための環境づくりの充実

(2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし得るよう、道徳性の育成に努める。

ア 道徳的実践力を高める指導の工夫

イ 豊かな心をはぐくむ体験活動の推進

ウ 郷土に関する資料の開発と活用

(3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、望ましい集団や豊かな体験の中で互いの個性を認め合い、協力してよりよい生活や人間関係を築いていくことができるよう、自主的、実践的な態度の育成に努める。

ア 自主的な態度を育てる学級活動・ホームルーム活動の工夫

イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫

ウ 児童の個性の伸長と触れ合いを深めるクラブ活動の工夫

エ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫

(4) 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体としてとらえ、健康でたくましい体をはぐくむ教育の推進に努める。

- ア 運動に親しむ資質や能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実
- イ 運動に関する知識を身に付け、自ら健康な生活を実践できる指導の充実
- ウ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができる指導の充実
- エ 安全に関する情報を正しく判断し、安全を確保することができる指導の充実

(5) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応に努める。

- ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協同指導体制の充実
- イ 生徒指導の機能を生かした学年・学級・ホームルーム経営の充実
- ウ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実

(6) キャリア教育の推進

一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質、能力、態度の育成に努める。

- ア キャリア教育指導体制の整備・充実
- イ 将来の生き方指導・進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達の段階に応じた勤労観・職業観の育成

(7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善、克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の整備・充実
- イ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- ウ 個別の教育支援計画の作成と活用による関係機関と連携した支援の充実
- エ 交流及び共同学習の推進

(8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間のかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科間の連携を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境にかかわる体験学習の推進

(9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語指導助手等の活用や言語活動の工夫・充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報活用能力を身に付けることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるコンピュータ等の適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進

(11) 研修の充実

教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・積極的な研修の推進に努める。

- ア 校内研修体制の整備・充実
- イ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- ウ 地域と連携した特色ある教育活動の研究・推進
- エ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

(12) 複式教育の充実

少人数の特性を生かし、一人一人の個性・能力の伸長を図るとともに、社会性の育成に努める。

- ア 学校運営・学級運営の創意工夫

イ 複式指導の充実

(13) 幼稚園教育の充実

一人一人の「自立の態度」を育成するために、心身の発達の実情をよく理解し、自発的な活動を促す指導の充実に努める。

ア 調和と統一のある教育課程の編成

イ 実態に即した指導計画の整備

ウ 「自立と協同の態度」を育成する指導の工夫

【社会教育指導の方針と重点】

1. 方針

社会の変化に対応しながら、ライフステージに応じて、自己の啓発・向上をめざし、生きがいのある人生と豊かで住みよい地域社会を実現する社会教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 社会教育推進体制の整備・充実

ア 社会教育計画に基づく事業の展開に努める。

イ 社会教育施設機能の充実と活用の促進に努める。

ウ 社会教育関係団体等の活動の支援に努める。

(2) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

ア 学校と地域の協働による教育活動の推進に努める。

イ 家庭教育支援・学習活動の充実に努める。

ウ キャリア教育の推進に努める。

(3) 多様な学習機会の拡充

ア 青少年の豊かな人間性を育む学習活動の推進に努める。

イ 学習者が自発的に学習する体制整備に努める。

ウ 読書活動の推進に努める。

(4) 多様な生涯スポーツの振興

ア 社会体育施設の整備充実及び活用促進に努める。

イ スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進に努める。

ウ スポーツ・レクリエーション活動の普及促進に努める。

エ スポーツ関係団体の育成と活動の推進に努める。

【文化財保護行政の方針と重点】

1. 方針

郷土に対する愛着と誇りを培い、うるおいのある町民生活を実現するため、未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

2. 重点

(1) 文化財の保護・保存

- ア 文化財調査や記録作成を行い、国・県及び町の文化財指定を進める。
- イ 指定文化財の保存・修理及び防災施設等の支援に努める。
- ウ 様々な機会・手段を通じて文化財保護思想の普及・啓発に努める。
- エ 国指定重要文化財「南部利康霊屋」の保存管理に努める。
- オ 国指定史跡「聖寿寺館跡」の保存管理に努める。
- カ 国登録有形文化財「田中家住宅主屋・米蔵・門」及び「村井家住宅主屋」の保存支援に努める。

(2) 文化財の整備・活用

- ア 国・県及び町指定文化財や関連施設をネットワーク化し、広域的活用を進めるとともに、情報発信に努める。
- イ 史跡聖寿寺館跡の土地公有化事業と発掘調査事業を進め、整備と活用に努める。
- ウ 南部氏関連史跡の調査研究活動と多様な活用に努める。

(3) 伝統芸能・技術の継承

- ア 伝統芸能の保存及び後継者の育成支援に努める。
- イ 伝統芸能の発表機会の充実に努める。
- ウ 子どもの伝統芸能伝承活動の推進に努める。

【学校給食重点目標】

- より安全、安心のおいしい給食を目指す。
- 栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかる。
- 手作りの料理を心がける。
- 伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。
- 地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。

教育委員会事務事業一覧

◇学校教育指導の重点との関連

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
1	スクールサポーター支援員配置事業	18	学務課
2	スクールカウンセラー配置事業	18	〃
3	小学生国内交流事業	19	〃
4	就学指導委員会事業	19	〃
5	就学援助事業	20	〃
6	学校の芸術文化活動事業	21	〃
7	学校施設管理事業	21	〃
8	奨学金貸付事業	22	〃
9	特別支援教育就学奨励費補助事業	22	〃
10	中学生海外派遣事業	23	〃
11	語学指導外国語青年招致事業	23	〃
12	教職員研修事業	24	〃
13	幼稚園就園奨励費補助事業	24	〃
14	町立幼稚園運営事業	25	幼稚園

◇社会教育指導の重点との関連

15	文化賞・スポーツ賞表彰	26	社会教育課
16	成人式	26	〃
17	家庭教育セミナー	27	〃
18	家庭教育講座(おもしろ体験教室)	27	〃
19	学校支援活動支援事業(国・県補助事業)	28	〃
20	学校と地域ネット推進事業	28	〃
21	南部ふるさと塾	29	〃
22	女性学級	30	〃
23	読書活動推進事業	30	〃
24	ふるさと“楽習”キャンプ	31	〃
25	青年教室	31	〃

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
26	南部七唄(第14回)・七踊り(第19回)全国大会実行委員会補助事業	32	社会教育課
27	まべち笑楽校	32	
◇文化財保護行政の重点との関連			
28	文化財審議委員会議	33	史跡対策室・社会教育課
29	町内文化財パトロール事業	33	〃
30	古街道の整備・活用・普及事業	34	〃
31	国指定重要文化財「南部利康霊屋」の保存管理・公開活用	34	〃
32	史跡「聖寿寺館跡」整備基本計画策定(平成24年度・25年度)	35	〃
33	史跡「聖寿寺館跡」土地公有化事業	36	〃
34	史跡「聖寿寺館跡」の発掘調査	36	〃
35	史跡「聖寿寺館跡」の活用(見学・体験発掘・出前授業)	37	〃
36	伝統芸能・技術の継承事業	38	〃
			〃
			〃
◇社会教育指導の重点との関連			
37	趣味の教室	39	公民館
38	ネイルアート教室	39	〃
39	アロマフィットネス講座	40	〃
40	英会話教室	40	〃
41	ルーシーダットン教室	41	〃
42	タブレット体験教室	41	〃
43	第7回町民運動会	42	体育館
44	第8回町民歩け歩け運動大会	42	〃
45	第29回うぐいすマラソン大会	43	〃
46	第3回総合優勝制スポーツ大会	44	〃
47	ニュースポーツフェスティバル	44	〃
48	ニュースポーツinスクール	45	〃
49	ニュースポーツ移動教室	46	〃

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
50	転倒・寝たきり予防教室	47	B&G海洋センター
51	水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム	48	〃
52	B&G会長杯三戸郡下中学校バレーボール大会	49	〃
53	B&G全国ジュニア水泳競技大会	49	〃
54	B&Gスポーツ大会青森県大会	50	〃
55	がんばろう東北！ニュースポーツ交流大会	50	〃
56	B&Gクリーンフェスティバルinなんぶ	51	〃
57	水辺の安全教室	52	〃
58	初心者水泳教室	53	〃
59	小学校水泳教室	54	〃
60	第7回南部町縦断駅伝競走大会	55	〃
61	第21回青森県民駅伝競走大会実行委員会補助金事業	56	〃

◇学校給食の重点との関連

62	安全・安心な給食	57	学校給食センター
63	バランスのとれた給食	57	〃
64	手作り感ある給食	58	〃
65	季節感ある給食	58	〃
66	地産地消の給食	59	〃

事業毎個別評価の観点

1. 事業の評価

事務事業の実績の評価は、南部町の教育の施策に基づいて、各事務事業の担当者が事務事業評価表を作成することにより行われます。評価の基準となる項目は、計画性・効率性・効果性・妥当性の4項目で検討され、次表の3段階で評価します。

- **計画性**：事業を必要とする社会的ニーズ、事業の進捗状況および終期の設定など事務事業が計画的に取り組まれているかを評価します。
- **効率性**：コストの節減効果、一人当たりの事業費の高低、類似事業との比較などにより効率性を評価します。
- **効果性**：総合計画実現への効果、目標とする成果に対する達成度を、経年的に把握することや、事業に対する町民のニーズ、計画段階からの町民参画、町民との協働など、町民の視点に立った事業となっているかを評価します。
- **妥当性**：町が実施主体になるべき事業か、他の事業と併せて実施することができないかなど、事務事業実施の妥当性を評価します。

項目	目標達成度	効果性に対し
評価が高い事業	◎(期待どおり)	80%以上
評価が中位の事業	○(ほぼ達成)	60~80%
評価が低い事業	△(期待以下)	60%以下

2. 総合評価

総合評価は、1の「事業の評価」を踏まえ事務事業毎に今後の方向性を検討しています。

拡充	対象の拡大や手段の充実により事業を拡充し、さらに成果の向上を図る。	A
継続	現状の状態で成果があがっているため、効率化に努めながら事業を継続する。	B
改善・縮小	対象や手段の変更、手段の絞り込み等により見直しを図り、事業の適性化・コスト削減また成果の向上を図る。	C
統合あるいは 休止・廃止	事業目的の意義の低下または社会情勢の変化により、事業を一時的に休止・廃止するもの。または、目的が関連・類似する他の事業への整理・統合するもの。	D

スクールサポーター支援員配置事業		事業の評価	◎	
学校教育指導の重点との関連2-(1)		総合評価	A	
概要	教育上特別な支援を必要とする、あるいは不安を抱える児童生徒に対し、学校生活上の支援や学習活動上の支援、相談活動などを行う支援員を小・中学校に配置する。			
実績	授業における学習指導の支援、校外行事等における安全確保支援、校内における生活指導の支援、児童生徒の悩み相談などを行った。 なお、各校1名ずつ配置し、1名あたり年間で950時間程度の勤務とした。			
	配置校	全12校(各1名)		
	事業費	小学校配置8名	8,978千円	
		中学校配置4名	4,497千円	
合計		13,475千円		
成果	特別な支援を必要とする、あるいは不安を抱える児童生徒に対し支援することにより、他の児童生徒が授業に集中でき、また、学級担任教諭を支援することにも繋がり、目の行き届いた指導を行うことが出来た。			
評価と方向性	教育上特別な支援を必要とする、あるいは不安を抱える児童生徒への支援の必要性が高まってきている。そのため、学校規模やニーズに応じた支援員の配置人数についても検討する必要がある。			

スクールカウンセラー配置事業		事業の評価	◎
学校教育指導の重点との関連2-(1)(5)		総合評価	B
概要	学校におけるいじめや不登校児童生徒の問題行動等の対応にあたり、臨床心理に関して高度で専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを県から配置され、教育相談の充実を図る。(県の事業)		
実績	児童生徒へのカウンセリング、教諭及び保護者に対するカウンセリング等(指導方針や子育てに関することなど)助言・援助を行った。		
	配置校	福地中・名川中・向小	
	配置時間	320時間/年間	
	事業費	県費負担	
成果	児童生徒にアンケート方式で相談活動を実施、効率的なカウンセリングができた。		
評価と方向性	カウンセラーの活用は、配置された学校では有効活用され、一定の評価が得られた。 毎年カウンセラー配置校が変わるため、カウンセラーに対する学校側の認識、対応がうまく取れた学校、取れなかった学校があり、1校に対し2~3年の継続性が必要である。また、その他の学校に対する活用機会の体制づくりも必要である。		

小学生国内交流事業		事業の評価	◎								
学校教育指導の重点との関連2-(1)(2)(3)		総合評価	B								
概要	南部氏の縁に結ばれた山梨県南部町の児童との交流を通して、ふるさとの歴史や自然等について、理解を深めるとともに、新しい時代の主役となる児童の友情や愛郷心を育むことを目的とし、訪問地ならではの体験やゲームなどを行い交流を深める。										
実績	<p>山梨県南部町を訪問し、富士山登山やキンボール大会等を行い児童の交流を深め、南部氏についての講義を聞くなど両町の歴史についての理解を深めた。</p> <table border="1"> <tr> <td>実施時期</td> <td>7/23～7/25</td> </tr> <tr> <td>当町参加児童</td> <td>30名(5・6学年)山梨県南部町参加児童 30名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,749千円</td> </tr> <tr> <td>当町参加者負担金</td> <td>10千円/名(一般会計の雑入 300千円)</td> </tr> </table>			実施時期	7/23～7/25	当町参加児童	30名(5・6学年)山梨県南部町参加児童 30名	事業費	1,749千円	当町参加者負担金	10千円/名(一般会計の雑入 300千円)
実施時期	7/23～7/25										
当町参加児童	30名(5・6学年)山梨県南部町参加児童 30名										
事業費	1,749千円										
当町参加者負担金	10千円/名(一般会計の雑入 300千円)										
成果	<p>両町合わせて60名の児童たちの友情が芽生えた。</p> <p>両町の歴史的なつながりや互いの町について、学習教室や発掘体験を通して知ることができ、児童の愛郷心や探究心が育まれた。</p>										
評価と方向性	両町の歴史的なつながりを理解し、また愛郷心を育むことのできる事業であるため、今後も継続の予定である。										

就学指導委員会事業		事業の評価	◎
学校教育指導の重点との関連2-(1)(7)		総合評価	B
概要	幼児及び児童生徒について、専門的調査や検査を行って、就学期間等の適切な教育措置についての判断を行う。特別の支援を要する幼児及び児童生徒の就学に係る教育相談を実施する。		
実績	<p>○ 判定件数</p> <p>幼児 8件</p> <p>児童 11件</p> <p>生徒 4件</p>		
成果	幼児及び児童生徒の検査結果により、特別の支援を要する者の保護者に対して専門的な判断をすることができた。		
評価と方向性	保育園、幼稚園、小・中学校からの相談について、専門的調査・検査を行って、各学校において保護者等への就学指導・相談業務を円滑に実施する。		

就学援助事業		事業の評価	◎												
学校教育指導の重点との関連2-(1)		総合評価	B												
概要	<p>児童生徒に対し、学用品費・修学旅行費、給食費等を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。 H25年度 認定基準</p> <p>○ 保 護:生活保護受給者</p> <p>○ 準要保護:次のいずれかの措置を受けた者で、前年度の所得が生活保護基準額の 1.1 倍以下の世帯に属する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活保護受給停止または廃止 2. 世帯全員が市町村民税非課税世帯 3. 世帯全員が市町村民税の全額減免 4. 世帯全員が国民年金保険料を全額免除 5. 国民健康保険料(税)全額減免または徴収猶予 6. 児童扶養手当の全額受給 7. 世帯の経済状態が悪く、学校納付金の支払いが困難(収入指数 1.1 倍以下) 														
実績	<p>要保護児童生徒</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>認定者数</td> <td>小学生 8名</td> <td>中学生 4名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>41 千円</td> <td>88 千円</td> </tr> </table> <p>※ 要保護児童生徒の、援助対象は修学旅行費のみである。</p> <p>準要保護児童生徒</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>認定者数</td> <td>小学生 89名</td> <td>中学生 77名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>6,440 千円</td> <td>8,342 千円</td> </tr> </table> <p>※ 準要保護児童生徒に係る事業費の 1/2 以内で国庫補助金あり</p>			認定者数	小学生 8名	中学生 4名	事業費	41 千円	88 千円	認定者数	小学生 89名	中学生 77名	事業費	6,440 千円	8,342 千円
認定者数	小学生 8名	中学生 4名													
事業費	41 千円	88 千円													
認定者数	小学生 89名	中学生 77名													
事業費	6,440 千円	8,342 千円													
成果	<p>経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図ることができた。</p>														
評価と方向性	<p>義務教育の円滑な実施を図るために、今後も継続して実施していく。</p>														

学校の芸術文化活動事業		事業の評価	○
学校教育指導の重点との関連2-(3)(9)		総合評価	B
概要	文化庁の事業として実施されている「次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業・派遣事業)」を活用し、小中学校から希望を募り実施する。 本事業のうち派遣事業は、文化庁からの照会に対して、学校が事業を企画・応募し、審査の結果により実施されるものである。		
実績	○ H25年度は、各学校に開催希望を募り、以下の希望があり事業を開催した。 ① 巡回公演事業 児童劇「小さなトムトム」他:劇団ブーク(福地小学校 10/15) オーケストラ『わが祖国』より『モルダウ』他:山形交響楽団(南部小学校 10/21) ② 派遣事業 茶道(福地小学校) 11/14、12/12、1/24・・・109千円 えんぶり(杉沢小学校) 12/5、1/23・・・70千円		
成果	茶道や伝統芸能であるえんぶりの指導を受けたことや文化芸術団体の公演を鑑賞したことで、児童が文化芸術と接することが出来たことにより、感性を養い、創造性を育むことができた。 また、地域の伝統芸能のえんぶりを体験したことで、地域への関心や郷土愛が深まった。		
評価と方向性	文化庁の事業であるが、児童が文化芸術と接する機会を得ることができるため、今後もさらに体験する機会を作っていく必要がある。		

学校施設管理事業		事業の評価	◎
学校教育指導の重点との関連2-(3)		総合評価	A
概要	幼稚園、小・中学校の学校施設を良好に維持していくために、施設管理業務、維持補修及び改修工事を実施し、健全な学校生活環境の整備を行う。		
実績	小中学校の修繕及び施設整備工事の施工を実施した。 ・施設修繕 2,625千円(小中学校12校の施設修繕) ・施設整備 22,271千円(南部小学校校舎屋根塗装工事(まか)6件) 建築物定期調査と併せて非構造部材の耐震点検を実施した。 ・委託料 4,410千円(小中学校12校、幼稚園2園)		
成果	計画した小中学校の修繕及び管理業務の他、施設整備工事を施工し学校の環境整備が図られた。		
評価と方向性	施設の老朽化により必要な修繕・維持工事は実施している。 今後も、利便性向上のため修繕・維持工事を行っていく必要があるが、築25年以上経過した学校施設については、部分的補修ではなく、施設の全面改修工事の実施を検討する必要がある。 また、平成25年度に実施した非構造部材の耐震点検の結果を基に、地震時の安全対策を図る必要がある。		

奨学金貸付事業		事業の評価 ㊟
学校教育指導の重点との関連 2-(6)		総合評価 B
概要	町内に住所を有する者の子で、高等学校以上の学校に在学し、勉学の意欲を有し、心身共に健康で、かつ経済上の理由で就学が困難と認められる者に対し、就学に必要な資金を貸し付けることにより有能な人材の育成に努める。	
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貸付状況 新規採用者 25名 ・平成 25 年度実績 ○ 貸付人数(77名) ・高等学校 10名・専門学校 12名・短期大学 5名・大学 50名 ○ 貸付総額 33,580,000円 ○ 滞納状況 ・一般会計:23名 6,324,850円 ・奨学基金:15名 4,377,000円 	
成果	将来を担う生徒が就学するための手助けとなった。	
評価と方向性	<p>経済上の理由から就学のための資金を必要としている者への貸付として、事業の継続が必要である。</p> <p>現在は、貸付の決定は採用基準により実施している。</p> <p>今後、貸付事業を継続していくための資金を確保する必要があることから、採用基準の検討や返還滞納者へ働きかけを継続する。</p>	

特別支援教育就学奨励費補助事業		事業の評価 ㊟						
学校教育指導の重点との関連2-(7)		総合評価 B						
概要	学校教育法施行令第 22 条の 3 に規定する障害の程度に該当する児童生徒及び、特別支援学級等へ就学する児童生徒の世帯の所得に応じて、学用品費・給食費等の補助を行う。							
実績	<p>特別支援学級</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>認定者数</td> <td>小学生 4名</td> <td>中学生 1名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>139千円</td> <td>37千円</td> </tr> </table> <p>※ 事業費の 1/2 以内で国庫補助金あり</p>		認定者数	小学生 4名	中学生 1名	事業費	139千円	37千円
認定者数	小学生 4名	中学生 1名						
事業費	139千円	37千円						
成果	学校教育法施行令第 22 条の 3 に規定する障害の程度に該当する児童生徒及び、特別支援学級等へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減できた。							
評価と方向性	<p>学校教育法施行令第 22 条の 3 に規定する障害の程度に該当する児童生徒及び、特別支援学級等へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担や心の負担の軽減できる事業であるため、今後も継続していく。</p> <p>将来を担う児童生徒が就学するための手助けとなった。</p>							

中学生海外派遣事業		事業の評価	○
学校教育指導の重点との関連 2-(9)		総合評価	B
概要	研修テーマは、「楽しみながら挑戦し、TPOを踏まえて行動しよう」を心に刻み、海外の歴史や文化・産業等の視察や現地の学生と交流を行う。また、ホームステイの体験を通して自主自立の目覚め、日々の学習意欲の向上を促す。		
実績	町内4中学校の2学年から参加生徒を選抜し、6泊8日の日程でカナダブリティッシュコロンビア州(バンクーバー)に派遣した。 現地では、ホームステイや体験型語学研修として学生と交流を図った。		
	派遣期間	10/25～11/1	
	募集人員	35名	
	参加生徒数	34名	
	事業費	9,974千円	
	参加者負担金	90千円/名 (一般会計の雑入 3,060千円)	
成果	多感な時期に海外を訪問することにより、広い視野を持ち、各学校のリーダーとしての意識を持ち、積極的に学校内外の活動に取り組む姿勢等が窺えた。		
評価と方向性	今年度は、研修地をハワイからカナダへ、実施時期も10月に変更し行った。生の英語と異文化に触れる機会に恵まれ、より積極性が生まれ、学校の力強いリーダーとなっている。 また、町内の中学校間交流の貴重な機会となっている。		

語学指導外国語青年招致事業		事業の評価	◎
学校教育指導の重点との関連 2-(9)		総合評価	B
概要	英語を母国語とする外国語指導助手が児童生徒の身近にいることにより、英語能力の向上及び興味・関心を持つことが期待されている。		
実績	2名を幼稚園・小中学校の英語指導の助手として配置した。		
	幼稚園では、月2回程度園児が英語に慣れるよう、発音練習や英語の唄を歌う等の指導を行った。 小中学校へは毎週訪問し、授業のほか、英会話スピーチコンテスト、中学生海外派遣事業の英会話指導を行った。		
成果	外国語指導助手の活用により、授業の資質の向上や児童生徒の学力向上、また幼稚園の英語教育の指導体制の充実が図られた。		
評価と方向性	平成26年7月で1名の外国語指導助手が任期満了となるため、新しい外国語指導助手を民間業者へ委託し、今まで以上に英語指導を充実させていく。		

教職員研修事業		事業の評価	—
学校教育指導の重点との関連2-(11)		総合評価	—
概要	教職員の新採用者に対して、南部町の教育課程・文化歴史等について理解を深めてもらうことを目的に実施する。 南部町の歴史、文化、各種事業の内容を理解し、教職員の認識向上を図り学習指導に取り入れている。		
実績	平成25年度は、新採用者がいないため実施なし。 平成23年度、平成24年度も実施なし。 平成20年度までは、新任者も研修対象としていたが、平成21年度からは対象外としている。		
成果	—		
評価と方向性	児童生徒の学習に役立つような研修内容(文化・歴史)になるよう、受講者の声・意見を聞きながら今後のステップアップを図るよう内容を充実させていく。		

幼稚園就園奨励費補助事業		事業の評価	◎					
学校教育指導の重点との関連2-(13)		総合評価	B					
概要	幼稚園教育の推進を図るため、また、就園児の保護者の経済的負担を軽減するため、世帯の所得に応じて、町立幼稚園には保育料の減免をし、私立幼稚園には補助金を交付している。							
実績	町立幼稚園	<table border="1"> <tr> <td>対象者数</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>145千円</td> </tr> </table>		対象者数	5名	事業費	145千円	
	対象者数	5名						
	事業費	145千円						
	私立幼稚園	<table border="1"> <tr> <td>幼稚園名</td> <td>あかね幼稚園、いずみ幼稚園、三戸紫苑幼稚園 いちい幼稚園、八戸文化幼稚園</td> </tr> <tr> <td>対象者数</td> <td>48名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>5,168千円</td> </tr> </table>		幼稚園名	あかね幼稚園、いずみ幼稚園、三戸紫苑幼稚園 いちい幼稚園、八戸文化幼稚園	対象者数	48名	事業費
幼稚園名	あかね幼稚園、いずみ幼稚園、三戸紫苑幼稚園 いちい幼稚園、八戸文化幼稚園							
対象者数	48名							
事業費	5,168千円							
成果	幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担を軽減することができた。							
評価と方向性	幼稚園に就園している園児の保護者の経済的負担が軽減できる事業であるため、今後も継続していく。							

町立幼稚園運営事業		事業の評価	○
学校教育指導の重点との関連2-(13)		総合評価	A
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・名川幼稚園入園者数:3歳児 13名・4歳児 14名・5歳児 17名 合計 44名 ・南部幼稚園入園者数:3歳児 2名・4歳児 2名・5歳児 6名 合計 10名 		
実績	<p>○名川幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教育目標 げんきにたのしくあそぶことも ②教育課程 基本的な生活習慣を定着させ、自立の基礎を培う。 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続について園内研修を実施した。 ③学校行事 5/3 春祭り 9/13 ぶどう狩り 2/14 名久井小学校訪問 その他、夕涼み会、運動会等に小学生を招待する。 <p>○南部幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教育目標 心豊かでたくましいこども ②教育課程 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のあり方について研究計画をたて実施した。 ③学校行事 5/16 春の自然散策 6/7 幼少交流会(南部小学校炊事遠足に参加) 10/4 親子体験教室 <ul style="list-style-type: none"> ・遊具・用具 室内:積み木、ブロック、ままごと、縄跳び、ボール 他 室外:ブランコ、滑り台、雲梯、砂場 他 ・安全管理 避難訓練(地震、火事、不審者)・交通安全指導 ・特別支援教育 教育相談や関係機関と連携し、随時実施した。 ・研 修 三戸郡幼稚園研究会研修 年2回、弘前大学教育学部附属幼稚園公開研究会 年1回 幼保小連携研修会、小学校授業参観 他 ・保護者との連携 園だより・個人面談・参観日・父母会の各種行事 他 		
成果	<p>恵まれた教育環境を有効活用し、豊かな体験を通して生きる力の基礎を培うことができた。 幼保小連携部会の研修に参加し、園児と小学生の交流により、信頼感やあこがれの気持ちが芽生え向上心が育った。</p>		
評価と方向性	<p>創造性や言語能力の向上を目指し、各年齢に相応な自発的遊びを通し総合的な指導及び一人ひとりの発達の特性に応じた指導に努める。</p> <p>平成 26 年度からは南部幼稚園が休園となり、町立幼稚園は名川幼稚園のみの運営となるが、保護者の保育ニーズを的確に捉えながら、限られた職員数の中ではあるが、より一層、幼稚園教育の充実を図りたい。</p> <p>小学生との交流を通して、就学への不安が払拭され、小学校へのスムーズな移行ができたので、今後も引き続き実施する。</p>		

文化賞・スポーツ賞表彰		事業の評価	◎												
社会教育指導の重点との関連 2－(1)		総合評価	A												
概要	町の文化向上に貢献した者、町の体育・スポーツ振興発展に功績があった者を表彰														
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開催日 2/15 ○ 開催場所 中央公民館 ○ 事業費 223千円 														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">文化 功 勞 賞</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">文 化 賞</td> <td style="text-align: center;">14名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">文化 奨 励 賞</td> <td style="text-align: center;">1団体、44名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ス ポ ー ツ 功 勞 賞</td> <td style="text-align: center;">該当なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ス ポ ー ツ 賞</td> <td style="text-align: center;">2団体、8名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ス ポ ー ツ 奨 励 賞</td> <td style="text-align: center;">4団体、37名</td> </tr> </table>			文化 功 勞 賞	1名	文 化 賞	14名	文化 奨 励 賞	1団体、44名	ス ポ ー ツ 功 勞 賞	該当なし	ス ポ ー ツ 賞	2団体、8名	ス ポ ー ツ 奨 励 賞	4団体、37名
	文化 功 勞 賞	1名													
	文 化 賞	14名													
	文化 奨 励 賞	1団体、44名													
	ス ポ ー ツ 功 勞 賞	該当なし													
	ス ポ ー ツ 賞	2団体、8名													
ス ポ ー ツ 奨 励 賞	4団体、37名														
成果	文化の向上、体育・スポーツ振興に功績のあった者を表彰することによって、町の活性化と人材育成を促進することができた。														
評価と方向性	町民の模範とみられる功績があった者への賞であることと、受賞者には今後の励みとなることから継続する。														

成人式		事業の評価	◎						
社会教育指導の重点との関連 2－(1)		総合評価	A						
概要	大人になったことを自覚し、将来の担い手となる新成人を祝い、励ますために、成人式を開催。								
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開催日 1/12 (日) ○ 開催場所 町民ホール「楽楽ホール」 ○ 事業費 412千円 								
	事業内容 式典、アトラクション (実行委員会が企画)、記念写真の贈呈								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">対 象 者</td> <td style="text-align: center;">237名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">参 加 者 数</td> <td style="text-align: center;">182名 (76.7%)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実 行 委 員 会</td> <td style="text-align: center;">3回開催</td> </tr> </table>			対 象 者	237名	参 加 者 数	182名 (76.7%)	実 行 委 員 会	3回開催
	対 象 者	237名							
参 加 者 数	182名 (76.7%)								
実 行 委 員 会	3回開催								
成果	新成人たちによる成人式実行委員会及び町連合青年団の協力・連携により円滑な式典の進行が図られ、新成人を祝うことができた。								
評価と方向性	今後はアトラクション部分を町連合青年団に担ってもらい、新成人との関わりを持ちながら活動の場を広げられるよう充実を図る。								

家庭教育セミナー		事業の評価	○
社会教育指導の重点との関連 2－(2)		総合評価	A
概要	幼児期における心身の発達と子育てのあり方等に関する講座を開催		
実績	○ 町内の乳幼児施設の要望に対応し講座を開催した。		
	参加者数	180名	
	開催回数	2回	
	開催場所	南部幼稚園 5月 親子ふれあい体操 名川幼稚園 10月 絵本・紙芝居の読み聞かせ	
	事業費	10千円	
成果	保護者が多く集まる機会に開催し、親子のふれあいを深めることができた。		
評価と方向性	参加者へのアンケートによると概ね好評であり、もっと多くの開催を希望していることから、保護者の子育てに関する資質と能力の向上を図るため、今後も継続していく。		

家庭教育講座（おもしろ体験教室）		事業の評価	○
社会教育指導の重点との関連 2－(2)		総合評価	A
概要	親子でのいろいろな体験活動によるコミュニケーションやふれあいの時間を作るための講座を開催		
実績	○ 親子での参加による体験活動型の講座を開催した。		
	参加者数	70名	
	開催回数	3回	
	開催場所	中央公民館等	
	講座内容	11月：海釣り 12月：クリスマスリース作り 1月：そば打ち体験	
事業費	20千円		
成果	親子で季節に応じた簡単にできる体験活動を行うことで、家族の絆づくりの一助となった。		
評価と方向性	内容及び開催日を検討し、事業を拡大して継続したい。		

学校支援活動推進事業 (国・県補助事業)		事業の評価	○
社会教育指導の重点との関連 2- (2)		総合評価	D
概要	地域住民が積極的に学校を支援し、地域の教育力の向上を図ることを目的した事業		
実績	○ 学校の要望に応じ、ボランティアを募集し、活動する。		
	会 議	学校支援コーディネーター会議 (8回)	
	コーディネーター	9名	
	開催場所	町内小・中学校(9校)	
	事業費	1,083千円	
成果	学校図書室の台帳や本の整備、学校行事への手伝い、授業の補助、環境整備など教員の手の届かない部分を補うことで、教員の子どもへ向き合う時間が増えた。また、ふるさとを愛する心が生まれ、地域の教育力の向上の一助となり、住みよい地域づくりにつながった。		
評価と方向性	これまでのコーディネーターの活動で、学校と保護者・地域の関係が良好となってきたことや、26年度をもって補助金は打ち切りとなるため本事業は廃止。		

学校と地域ネット推進事業		事業の評価	◎
社会教育指導の重点との関連 2- (2)		総合評価	A
概要	小・中学校の要望に応じて、各分野の専門家、愛好家に学校教育活動に講師として参加してもらい、児童生徒の基礎的学習の定着を図り、地域に対する愛着の心を育むことを目的とした事業。		
実績	○ 学校の要望に応じた講師 (ゲストティーチャー) を派遣した。		
	対象者	児童、生徒	
	講師	35名(一般)	
	開催回数	171回	
	開催場所	小・中学校	
	事業費	290千円	
成果	地域の文化や歴史のほか郷土芸能、生活 (郷土料理)、産業 (和・洋裁)、趣味や娯楽 (書道・茶道)、音楽 (サクソ他)、様々な分野に多くの地域人材を活用することにより、学校教育及び社会教育の学習効果を高めることができた。		
評価と方向性	授業としての学習だけでなく、人材の育成や世代間交流によるキャリア教育にも対応している事業であり、今後も拡大・継続していく。		

南部ふるさと塾		事業の評価	◎
社会教育指導の方針と重点との関連		2 - (3)	総合評価
			A
概要	<p>戦国時代、南部地方の政治・経済・文化の中心地であり、南部氏に関わる城館跡や文化財・伝承が数多く残っている、南部藩発祥の地と云われる南部町。</p> <p>歴史的な魅力あふれる地域性を活かし、郷土の歴史に関する学習の場を提供する。</p> <p>平成 25 年度は、シリーズ『対決！戦国時代の南部と津軽』を開催し、関連研究者を講師として招いた。</p>		
実績	<p>シリーズ『対決！戦国時代の南部と津軽』</p> <p>●対象：第1回は町民のみ（年齢問わず）、第2回～第6回は町民及び周辺市町村民（年齢問わず）</p> <p>●場所（会場）：第1回 鱒ヶ沢町 国史跡種里城、南部光信公の墓所、光信公の館等 第2回～第6回 剣吉公民館</p> <p>第1回 『移動講座 in 鱒ヶ沢』 9/7 参加者：30名</p> <p>第2回 弘前大学教授 齊藤利男氏『戦国大名三戸南部氏と津軽為信』 10/5 参加者：173名</p> <p>第3回 鱒ヶ沢町教育委員会 中田書矢氏 『よみがえる種里城～津軽に進出した南部氏の城～』 11/2 参加者：114名</p> <p>第4回 青森県立郷土館研究主幹 本田伸氏 『対立と交流の地域史～南部氏と津軽氏を題材に～』 12/7 参加者：128名</p> <p>第5回 八工大第二高等学校教諭 熊谷隆次氏 『戦国末期南部領内の境界紛争』 2/1 参加者：146名</p> <p>第6回 七戸町教育委員会世界遺産対策室 室長補佐 小山彦逸氏 『戦国期末から近世初頭の南部氏と津軽氏の城』 3/1 参加者：127名</p> <p>● 事業費 150千円</p>		
成果	<p>八戸市・十和田市・七戸町等の近隣市町村はもとより、盛岡市や一関市、久慈市、二戸市等県外からの参加もあり、前年度比 1.64 倍の参加者があった。アンケートでは、81%がリピーターで、19%が初参加であり、新規参加者の開拓に一定の成果が認められ、町外に対し、『南部藩発祥の地 南部町』をPRすることができた。</p>		
評価と方向性	<p>今年度は、延べ 718 名の参加があり、毎年確実に参加者が増加している。 (H23 は 200 名、H24 は 438 名)</p> <p>講師はアンケート結果をもとに、共催団体の歴史研究会と協議して決定している。 南部町の歴史を地域資源として活用し、町おこしや観光の目玉としてもPRしていくことが必要で、今後も講座を充実させていく。</p>		

女性学級		事業の評価	○
社会教育指導の重点との関連		2 - (3)	総合評価
			B
概要	広く教養を身につけ、かしこく生きる女性のための講座を開催		
実績	○ 講座内容		
	・ 3月：郷土料理教室		
	・ 3月：講演会「県のかたちを考えよう」		
	参加者数	38名	
	開催回数	2回	
開催場所	南部町立中央公民館		
事業費	0千円		
成果	町連合婦人会が主体となり、講座の計画、運営を行って、女性の地域における社会連携意識の確立や形成、資質・能力の向上を図ることができた。		
評価と方向性	町連合婦人会の自発的な運営により実施しているが、参加者が少なく、中止となった企画もあり講座の回数が減った。今後は一般参加者を募っての講座等の企画を計画するなど実施方法を再考する。		

読書活動推進事業		事業の評価	◎
社会教育指導の重点との関連		2 - (3)	総合評価
			A
概要	読書団体の育成を目的にした、読み聞かせの技術を習得するなどの事業		
実績	おはなし会の開催		
	参加者数	84名	
	開催回数	12回（毎月第4日曜日）	
	開催場所	名川中学校図書室1階	
	町内読書団体	福地おはなしの会、ハーフライブラリー、なんぶお話し会の会	
事業費	56千円		
成果	読み聞かせへの町民の意識の高まりと、12月の合同おはなし会では、参加者の交流が図られた。		
評価と方向性	町内の読書団体の育成を図るため、今後も拡大継続していく。		

ふるさと“楽習”キャンプ		事業の評価	○
社会教育指導の重点との関連 2－(3)		総合評価	A
概要	ふるさとの自然を体感し、世代間の交流を深め、豊かな人間性を育むことを目的に行う野外活動		
実績	○ 活動内容 共同生活、野外炊事、ジェルキャンドルづくり、ドラム缶風呂 流しそうめんづくり、カヌー体験、清掃活動		
	参加者数	20名（小学校4～6年生）	
	開催回数	2日	
	開催日	8/8～8/9	
	開催場所	名川チェリリン村他	
	事業費	75千円	
成果	野外でのテント生活やドラム缶風呂など、日頃体験できないプログラムで行い、同世代や地域の方々と交流が図られ、社会性や自主性を養うことができた。		
評価と方向性	子どもたちの感想文から、体験活動の楽しさが伺えた。さらに、地域の多くの人たちとふれあうことで、子どもに豊かな人間性を育む機会を与えるとともに地域の教育力向上が期待できるので、事業の拡大充実が望まれる。		

青年教室		事業の評価	○
社会教育指導の重点との関連 2－(3)		総合評価	B
概要	時代の進展に即する知識・技能の習得、社会生活における自己の役割と責任の自覚を養う講座を開催		
実績	参加者数	延べ58名	
	開催回数	8回	
	講座内容	ネイルアート教室 5回：6/27・7/4・7/11・7/18・7/25	
	開催日	パソコン教室 3回：10/31・11/15・12/18	
	開催場所	南部公民館	
	事業費	－	
成果	ネイルアート教室は公民館講座と連携して、パソコン教室は成人式実行委員会との連携して作成したスライドを成人式で発表した。両事業とも興味、関心が高く好評であり、また、共通の目的を持つ内容であるため、参加者同士の交流も多く見られ各々の資質の向上も図られた。		
評価と方向性	成人式実行委員会など青年が集まる機会を利用して教室を開催した。近年、青年の興味や関心の多様化により、青年を対象にした教室の開催が難しくなっている。今後は、町の青年組織から情報を得ながら、開催時期や内容など、青年のニーズを調査して、お互いの誘い合いなどにより参加者の増加を図りたい。		

南部七唄（14回）七踊り（19回）全国大会実行委員会補助金事業		事業の評価	◎
社会教育指導の重点との関連 2－（3）		総合評価	A
概要	南部七唄七踊りの啓発、普及、後継者を育成することを目的にした事業		
実績	○ 開催日 9/22 ○ 開催場所 町民ホール（楽楽ホール） 実行委員会 年4回行い、内容を協議し、大会を開催した。		
	出場者数	七唄小学生の部	9名
		七唄中・高生の部	6名
		七踊り子どもの部	24名
		七踊り大人の部	35名
事業費	2,900千円（町補助金）		
成果	多くの観客が訪れたことから、地域に愛されている郷土芸能であることが伺い知れた。 七唄の部で、南部町出身者の入賞が増えているのは、公民館で行なわれている子ども教室の効果と考えられる。		
評価と方向性	南部七唄七踊りは町の文化財にも指定されており、多くの方々に愛されているため、今後も継続していく。		

まべち笑楽校		事業の評価	◎
社会教育指導の重点との関連 2－（3）		総合評価	A
概要	町内の高齢者のいきがづくりを目的として、学校方式を用いた学習活動の環境を整える事業		
実績	参加者数	19名	
	開催日	毎週火曜日 10:30～14:30 (29回) 入学式：5月14日 卒業式：3月18日 修学旅行：11月5日～6日（陸前高田市）	
	開催場所	剣吉公民館	
	事業費	280千円	
成果	高齢者に学習の場を提供することができ、参加者に連帯感が生まれ、有意義な学習活動とすることができた。		
評価と方向性	高齢者の学びの場であるとともに、出会い・交流の場として、今後も継続していく。		

文化財審議委員会議		事業の評価	○
文化財保護行政の方針と重点との関連 4- (1)		総合評価	B
概要	文化財審議委員会議の開催 文化財審議委員による町指定文化財候補物件の調査、文化財の指定		
実績	会議の開催日	4/12・12/19 委員5名出席	
	文化財調査	9/12・12/19 委員5名出席	
	三八地区文化財保護研究集会	10/18 委員5名出席 会場：八戸市是川縄文館	
	事業費	129千円	
成果	文化財審議委員会議を開催し、町指定文化財候補物件等の調査を行うことができた。		
評価と方向性	町指定文化財の候補物件は平成25年度時点で15件あり、早期に調査し指定していく必要がある。		

町内文化財パトロール事業		事業の評価	○
文化財保護行政の方針と重点との関連 4- (1)		総合評価	B
概要	町内に所在する文化財について、パトロールを通して現状を把握し保護活動に努める。		
実績	主な業務	遺跡の範囲変更及び新規遺跡の登録 土地開発等による埋蔵文化財の破壊や盗掘の有無の確認 文化財・埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握	
	パトロール件数	19カ所 国指定1カ所、町指定2カ所、 埋蔵文化財15遺跡（うち、1遺跡は新規登録遺跡）その他1カ所	
	実施日	通年	
	事業費	一円	
成果	文化財・埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握することができた。 ○新規遺跡を1カ所発見。「伊勢沢(3)遺跡」 ○鳥舌内館については県の登録範囲が誤っており、範囲の変更を申請した。		
評価と方向性	文化財・埋蔵文化財の保護には必要不可欠な事業であり、今後も継続してパトロールを実施する必要がある。		

古街道の整備・活用・普及事業		事業の評価	○						
文化財保護行政の方針と重点との関連 4 - (1)		総合評価	B						
概要	江戸時代に定められた五街道のひとつである「奥州街道」が南部町を南北に縦断し、奥州街道の脇街道である鹿角（八戸）街道が東西に横断している。この街道の刈り払い等の整備を年2回程度行い管理している。今年度は、南部公民館前に十数年前に移動されていた奥州街道と鹿角街道の追分石を、元の位置に戻す工事を実施ほか、町の歴史を楽しく学ぶ古街道ウォークも実施し、活用・普及している。								
実績	<table border="1"> <tr> <td>古街道ウォーク</td> <td>鹿角街道 6/10 参加者：29名（名久井小6年生） 奥州街道 10/4 参加者：60名（向小・南部小6年生合同）</td> </tr> <tr> <td>追分石 据付作業</td> <td>11/11～15</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>40千円</td> </tr> </table> <p>※手作りパンフレットの作成・設置</p>			古街道ウォーク	鹿角街道 6/10 参加者：29名（名久井小6年生） 奥州街道 10/4 参加者：60名（向小・南部小6年生合同）	追分石 据付作業	11/11～15	事業費	40千円
古街道ウォーク	鹿角街道 6/10 参加者：29名（名久井小6年生） 奥州街道 10/4 参加者：60名（向小・南部小6年生合同）								
追分石 据付作業	11/11～15								
事業費	40千円								
成果	奥州街道沿いには数多くの文化財があり、街道を歩いて町の歴史を楽しく学ぶことは、児童にとって新鮮に映ったようである。奥州街道についての問い合わせは年間を通して一定量あり、手作りパンフレットを社会教育課に設置した。								
評価と方向性	奥州街道や奥州街道ウォークに対して一定のニーズがあり、今後も事業を継続していく。								

国指定重要文化財『南部利康霊屋』の保存管理・公開活用		事業の評価	○														
文化財保護行政の方針と重点との関連 4 - (1)		総合評価	A														
概要	<p>南部利康霊屋の保存管理（除草・植木の手入れ・霊屋トイレの管理・修繕）</p> <p>南部利康霊屋の公開・活用</p> <p>（通年で社会教育課が予約を受け付け公開、ぼたんまつり期間中は職員が立ち会い霊屋の特別公開）</p> <p>南部利康霊屋保存管理委員会への助成（町から430千円）</p>																
実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">事業内容</td> <td>4月～11月末</td> <td>霊屋公園環境整備</td> </tr> <tr> <td>4月～11月末</td> <td>霊屋拝観業務</td> </tr> <tr> <td>5月下旬～6月上旬</td> <td>ぼたんまつり期間中：霊屋特別公開</td> </tr> <tr> <td>8/18</td> <td>南部利直命日</td> </tr> <tr> <td>11/21</td> <td>南部利康命日</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>430千円</td> <td></td> </tr> </table>			事業内容	4月～11月末	霊屋公園環境整備	4月～11月末	霊屋拝観業務	5月下旬～6月上旬	ぼたんまつり期間中：霊屋特別公開	8/18	南部利直命日	11/21	南部利康命日	事業費	430千円	
事業内容	4月～11月末	霊屋公園環境整備															
	4月～11月末	霊屋拝観業務															
	5月下旬～6月上旬	ぼたんまつり期間中：霊屋特別公開															
	8/18	南部利直命日															
	11/21	南部利康命日															
事業費	430千円																
成果	拝観は、他市町村の郷土史研究会関係の団体が多く、旅行会社や観光協会より観光ツアーに組み入れたなどの打診もあった。																
評価と方向性	南部利康霊屋は貴重な国指定重要文化財であり、保存管理を継続していく。																

史跡聖寿寺館跡整備基本計画策定（平成24年度・25年度のみ）		事業の評価	◎
文化財保護行政の方針と重点との関連4－（2）		総合評価	A
概要	『史跡聖寿寺館跡』を史跡公園として整備するため、史跡聖寿寺館跡整備基本計画策定委員会を開催し、計画を策定・刊行する。		
実績	史跡聖寿寺館跡整備基本計画策定委員会（委員 8名）		
	第3回会議 8/26（月）	委員による現地視察（聖寿寺館跡本体・三光寺地区・本三戸八幡宮地区） 整備基本計画書案をもとに内容を協議	
	11/7（木）	二戸市埋蔵文化財センター 視察	
	第4回会議 11/18（月）	整備基本計画書案をもとに内容を協議	
	第5回会議 2/14（金）	文化庁文化財部記念物課 課長補佐と文化財調査官が現地視察、会議に出席・指導 整備基本計画書案をもとに内容を協議	
	刊行物の 内容	「史跡聖寿寺館跡整備基本計画書」 Ⅷ章構成、全90ページ、オールカラー、300部印刷	
	発行日	平成26年3月31日	
	事業費	497千円（町単費）	
成果	史跡聖寿寺館跡整備基本計画策定委員会において、具体的な計画の内容を話し合った。 文化庁・県、整備基本計画策定委員会の指導により、整備基本計画を策定し刊行した。		
評価と 方向性	今後は、整備基本計画に則って、史跡聖寿寺館跡と周辺城館・文化財等の整備を実施していく。 （次年度は調査・整備委員会を発足させ、整備の具体的な実施計画を立案する予定。）		

史跡聖寿寺館跡土地公有化事業		事業の評価	○
文化財保護行政の方針と重点との関連 4 - (2)		総合評価	B
概要	『史跡聖寿寺館跡』の発掘調査を実施した後に史跡公園化して整備するため、地権者の同意を得て聖寿寺館跡本体部分の土地を公有化する。(国庫補助 8割)		
実績	○ 公有化した土地 ・住所 南部町大字小向字館 15 番地 面積 2,103 m ² ○ 事業費 22,100 千円 (うち国庫補助 17,680 千円)		
成果	史跡聖寿寺館跡本体部分の平場北側の一部を公有化することができた。		
評価と方向性	平成 17 年度に文化庁・青森県教育委員会・南部町教育委員会の連名で刊行した『史跡聖寿寺館跡保存管理計画』に基づき、聖寿寺館跡を史跡公園として整備するため、公有化を進めている。 次年度以降は公有化面積を拡充していく必要がある。		

史跡聖寿寺館跡の発掘調査		事業の評価	○
文化財保護行政の方針と重点との関連 4 - (2)		総合評価	B
概要	○ 平成 5 年から発掘調査を継続中 (国庫補助 5 割補助) ・発掘調査期間 6/17~11/30 遺物整理期間 12/2~3/31 ・調査面積 約 856 m ² ・目的 平成 25 年度末刊行予定の整備基本計画の基礎資料を収集するため、主殿や会所等、主要な建物が想定される平成 23 年度調査区南側に調査区を設定、土塁・柵列が想定される平場西側縁辺部に調査区を設定 ・調査地点 城館平場西部		
実績	・遺構としては掘立柱建物跡・竪穴建物跡・井戸跡・土塁・柵列・切岸を確認。 ・遺物としては青磁碗・皿、白磁皿、染付皿、瀬戸美濃皿、越前甕等の陶磁器、角釘、銭貨等の金属製品、砥石、茶臼等の石製品が出土した 事業費 : 6,000 千円 (国庫補助 3,000 千円補助)		
成果	史跡公園としての整備に必要な不可欠な土塁の基底部を 3 か所で確認した。また、会所の可能性のある総庇の建物を確認した。		
評価と方向性	史跡公園として整備するためには以下の項目の調査が必要であり、近年中に調査を実施し、整備につなげていく必要がある。 ・南西部虎口の遺構確認、城館平場縁辺部の土塁確認 ・中軸街路想定範囲の遺構確認 ・主殿や会所等、主要な建物跡の建物範囲の確定		

史跡聖寿寺館跡の活用（見学・体験発掘・出前授業）		事業の評価	◎																											
文化財保護行政の方針と重点との関連 4－（2）		総合評価	B																											
概要	<p>史跡聖寿寺館跡の見学や体験発掘を通して、町の歴史を児童・生徒に現地で実際に体感してもらう体験型の学習プログラム。</p> <p>各学校での出前授業では、史跡対策室職員が講師となって、スライドを交えながら町の歴史を解説。</p>																													
実績	<p>○ 体験発掘 小学校：5校、まべち笑楽校1回 参加者数：146名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>実施内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/3</td> <td>向小学校6年生、名久井小学校6年生 合同体験発掘</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td>7/16</td> <td>名川南小学校5・6年生、 名久井小学校6年生 合同体験発掘</td> <td>34名</td> </tr> <tr> <td>10/11</td> <td>剣吉小学校6年生 体験発掘</td> <td>39名</td> </tr> <tr> <td>10/22</td> <td>まべち笑楽校 体験発掘</td> <td>13名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 出前授業 小学校：2校、まべち笑楽校1回 参加者数：79名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>実施内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/22</td> <td>向小学校6年生 縄文学習出前授業</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td>5/30</td> <td>名久井小学校6年生 縄文学習出前授業</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>6/11</td> <td>まべち笑楽校 出前授業『南部町の歴史』</td> <td>16名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 史跡聖寿寺館跡見学者 169名</p> <p>○ 事業費 一 円</p>			実施日	実施内容	参加者	7/3	向小学校6年生、名久井小学校6年生 合同体験発掘	60名	7/16	名川南小学校5・6年生、 名久井小学校6年生 合同体験発掘	34名	10/11	剣吉小学校6年生 体験発掘	39名	10/22	まべち笑楽校 体験発掘	13名	実施日	実施内容	参加者	4/22	向小学校6年生 縄文学習出前授業	36名	5/30	名久井小学校6年生 縄文学習出前授業	27名	6/11	まべち笑楽校 出前授業『南部町の歴史』	16名
実施日	実施内容	参加者																												
7/3	向小学校6年生、名久井小学校6年生 合同体験発掘	60名																												
7/16	名川南小学校5・6年生、 名久井小学校6年生 合同体験発掘	34名																												
10/11	剣吉小学校6年生 体験発掘	39名																												
10/22	まべち笑楽校 体験発掘	13名																												
実施日	実施内容	参加者																												
4/22	向小学校6年生 縄文学習出前授業	36名																												
5/30	名久井小学校6年生 縄文学習出前授業	27名																												
6/11	まべち笑楽校 出前授業『南部町の歴史』	16名																												
成果	<p>体験発掘には146名、出前授業には79名が参加した。</p> <p>戦国時代の城館跡の発掘調査を体験することにより、当時の人々が使用していた武器や生活用品に触れ、南部藩発祥の地「南部町」の歴史を五感で感じてもらった。</p> <p>学校からは、継続して出前授業や体験発掘のニーズがあり、郷土の歴史学習に対し効果をあげている。</p>																													
評価と方向性	<p>学校教育において地元の歴史や文化を学ぶことは必要不可欠であり、今後も町内の学校と連携し、児童・生徒に郷土の歴史を学ぶ機会・体験する機会を提供し、郷土に誇りをもてるような郷土史学習プログラムを推進していきたい。</p>																													

趣味の教室		事業の評価	◎
社会教育指導の方針と重点との関連2－(3)		総合評価	A
概要	自己の知識・能力の向上を図ることを目的に、受講者主体による23講座を開講する。		
実績	○ 町民の希望による教室 23講座		
	登録者数	341名	
	開催期間	5月～2月（月2回の開催）	
	開催場所	町内公民館、体育館、名川B&G海洋センター、伝承館等	
	事業費	1,842千円	
成果	受講者の自主的な運営のため真剣に取り組んでおり、学習意欲が高く、目的に沿った内容となっている。 また、3月には「趣味の教室発表会実行委員会」を立上げ、合同学習発表会を開催した。		
評価と方向性	終了式の際に次年度の受講希望をとっているが、ほとんどの教室で継続希望であるため、継続して開催する。		

ネイルアート教室		事業の評価	○
社会教育指導の方針と重点との関連2－(3)		総合評価	B
概要	ネイルアートを通じての仲間づくりや心身のリフレッシュ等、潤いのある生活の一助となるよう開催する。		
実績	○ ネイルアートに関する講義と実習		
	登録者数	6名	
	参加者数	延べ28名	
	開催回数	5回（6月～7月）	
	開催場所	南部公民館	
	事業費	50千円	
成果	参加者それぞれが自分なりのネイルを完成させ、自己の資質向上が図られた。		
評価と方向性	講座終了後に継続を希望する意見が多かったため、今後も拡大・充実を図りたい。		

アロマフィットネス教室		事業の評価 ◎
社会教育指導の方針と重点との関連2－（3）		総合評価 B
概要	アロマセラピーのリラックス&リフレッシュ効果と、簡単にできるエクササイズを結びつけた運動を通して、健康維持の一助となるように開催した。	
実績	○ アロマフィットネスに関する講義と演習	
	登録者数	30名
	参加者数	延べ192名
	開催回数	10回（10月～12月）
	開催場所	福地公民館
	事業費	100千円
成果	香りと運動による健康づくり・健康管理について学ぶことができた。また、受講者自身でアロマの種類や香りの効果を活用し、自身の体調に合わせてながら運動することで、心身の健康改善への成果が上げられた。	
評価と方向性	開催回数を増やしたところ大変好評で、周知方法の見直しにより登録者数の拡大が図られた。参加者の健康管理・健康づくりに対する意識が高まり、参加者から継続を望む声があり、今後も内容の充実に努め継続していく。	

英会話教室		事業の評価 ◎
社会教育指導の方針と重点との関連2－（3）		総合評価 B
概要	高校生以上の町民を対象に、国際人としての資質の向上を図るため、英語に親しみ、英語での簡単な日常会話ができるように開催した。	
実績	○ 英会話に関する講義と演習	
	登録者数	17名
	参加者数	延べ131名
	開催回数	13回（9月～12月）
	開催場所	福地公民館
	事業費	221千円
成果	参加者の学習態度は極めて意欲的で、参加者による自主的な運営がなされ、外国人講師による本物の英語を学ぶ良い機会となった。	
評価と方向性	学習方法や内容は充実しており、参加者個々の目標は概ね達成されたので、継続していく。	

ルーシーダットン教室		事業の評価	◎
社会教育指導の方針と重点との関連2－(3)		総合評価	B
概要	ルーシーダットン（タイ式ヨガ）の特徴である呼吸法を実践しながら様々なポーズを学び、リラクゼーションを得ながら体全体の血液やリンパの流れをスムーズにし、健康維持の一助となるように開催した。		
実績	○ ルーシーダットンに関する講義と実習		
	登録者数	18名	
	参加者数	延べ99名	
	開催回数	8回（8月～10月）	
	開催場所	福地公民館	
	事業費	80千円	
成果	心と体の健康管理・健康づくりに効果が大きく、参加者の学習意欲も高かった。		
評価と方向性	参加者から継続を望む声があり、今後も内容の拡大・充実に努め継続していく。		

タブレット体験教室		事業の評価	○
社会教育指導の方針と重点との関連2－(3)		総合評価	A
概要	現在普及している、スマートフォン・タブレットの操作を学習し知識教養を身につける。		
実績	○ タブレット（タッチパネル端末）の操作に関する講義と実習 講師：NTT東日本八戸営業部職員		
	登録者数	10名	
	参加者数	10名	
	開催回数	1回（3月）	
	開催場所	福地公民館	
	事業費	—	
成果	NTT職員のサポートにより、タブレットを実際に操作し、インターネット等を体験しながら学習し知識を身につけた。		
評価と方向性	新規の開催であったが、参加の申し込みが多く、再度の開催を望む声があり、来年度（4月）に開催を予定。		

第7回 町民運動会		事業の評価 ◎								
多様な生涯スポーツの振興2-(4)		総合評価 B								
概要	町民の健康増進と町民相互の親睦を深め健康で明るく住みよい町づくりに寄与し、明日への活力を養うため毎年度開催している。本年は、台風18号の影響により馬淵川が氾濫し、町内各地で床上・床下浸水により、避難を要する地区があり、一部のチームから参加不能の連絡があったことから、チーム監督会議において中止することとなった。									
実績	<table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>18チーム (予定)</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>10/13 (予定)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>南部中学校 (予定)</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>341千円</td> </tr> </table>		参加者数	18チーム (予定)	開催日	10/13 (予定)	開催場所	南部中学校 (予定)	事業費	341千円
参加者数	18チーム (予定)									
開催日	10/13 (予定)									
開催場所	南部中学校 (予定)									
事業費	341千円									
成果	9月16日の台風18号による被害が大きく、9月20日監督会議を開き、検討の結果中止となった。									
評価と方向性	各チーム、スポーツ推進委員、スポーツ指導員へのアンケートにより、運営及び種目の検討を行ったが、中止のため反映させることが出来なかった。今後とも、運営及び種目の検討をかさねて、町民の健康増進と親睦をさらに深めていく運動会にしていきたい。									

第8回 町民歩け歩け運動大会		事業の評価 ◎										
多様な生涯スポーツの振興2-(4)		総合評価 A										
概要	町民の体力つくりと参加者相互の親睦を深めるため、また、日常生活の中で歩くことの重要性を再認識することで、健康で明るい町づくりに寄与することを目的に毎年度開催しているが、春先の雪溶け水による崩落箇所・遊歩道の崩壊があり延期、次に計画した日程も台風18号の影響による崩落箇所・遊歩道の崩壊などにより中止とした。											
実績	<table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>南部町民</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>150名 (申込者数)</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>7/7 (1回目)・9/23日 (2回目)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>西日屋村暗門の滝 (歩け歩け運動)</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>14千円 (準備等経費)</td> </tr> </table>		対象者	南部町民	参加者数	150名 (申込者数)	開催日	7/7 (1回目)・9/23日 (2回目)	開催場所	西日屋村暗門の滝 (歩け歩け運動)	事業費	14千円 (準備等経費)
対象者	南部町民											
参加者数	150名 (申込者数)											
開催日	7/7 (1回目)・9/23日 (2回目)											
開催場所	西日屋村暗門の滝 (歩け歩け運動)											
事業費	14千円 (準備等経費)											
成果	当初予定7月7日は雪溶け水により散策道が通行不能、2回目の9月23日の大会も9月16日の台風18号の被害により、中止となった。											
評価と方向性	歩くことは個々の体力に合わせた手軽な運動であり、町民の体力つくり、健康の維持・増進に必要と考えられることから、今後、多くの参加者を集めるため、参加者等の意見を参考に、新たなコース設定を計画するなど、今後も歩くことに関心を持たせる事業として継続していきたい。											

第29回うぐいすマラソン大会		事業の評価	◎																																																													
多様な生涯スポーツの振興 2 - (4)		総合評価	A																																																													
概要	参加者の健康増進と、参加者相互の親睦と融和を図るため、体力に応じた種目別区分を設定し、幅広く参加できる大会として開催した。また、今大会より大会開催案内方法を変更した。(町広報誌、町hP)																																																															
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者 健康で、所定の距離を完走できる者 ○ 申込者数 702名 (平成24年度878名) ○ 参加者数 558名 (平成24年度710名) うち町民参加者数 126名 ○ 開催日 4/21 ○ 開催場所 ふくち運動公園多目的広場 ○ 事業費 500千円 ○ 天候 雨 																																																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>申込者 (名)</th> <th>参加者 (名)</th> <th>うち町民 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 小学校3年生以下男子 3km</td> <td>39</td> <td>34</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>B 小学校3年生以下女子 3km</td> <td>25</td> <td>20</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>C 小学校4~6年生男子 3km</td> <td>53</td> <td>42</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>D 小学校4~6年生女子 3km</td> <td>41</td> <td>38</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>E 中学生男子 3km</td> <td>21</td> <td>18</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>F 中学生女子 3km</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>G 高校・一般男子 3km</td> <td>45</td> <td>34</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H 高校・一般女子 3km</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>I 高校・一般男子 5km</td> <td>65</td> <td>48</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>J 高校・一般女子 5km</td> <td>24</td> <td>19</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>K 高校・一般男子 10km</td> <td>232</td> <td>190</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>L 高校・一般女子 10km</td> <td>41</td> <td>33</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>M 誰でも参加 (計測なし) 3km</td> <td>94</td> <td>67</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>702</td> <td>558</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table>				コース	申込者 (名)	参加者 (名)	うち町民 (名)	A 小学校3年生以下男子 3km	39	34	22	B 小学校3年生以下女子 3km	25	20	6	C 小学校4~6年生男子 3km	53	42	20	D 小学校4~6年生女子 3km	41	38	18	E 中学生男子 3km	21	18	12	F 中学生女子 3km	10	6	5	G 高校・一般男子 3km	45	34	4	H 高校・一般女子 3km	12	9	1	I 高校・一般男子 5km	65	48	2	J 高校・一般女子 5km	24	19	0	K 高校・一般男子 10km	232	190	5	L 高校・一般女子 10km	41	33	0	M 誰でも参加 (計測なし) 3km	94	67	31	計	702	558	126
	コース	申込者 (名)	参加者 (名)	うち町民 (名)																																																												
	A 小学校3年生以下男子 3km	39	34	22																																																												
	B 小学校3年生以下女子 3km	25	20	6																																																												
	C 小学校4~6年生男子 3km	53	42	20																																																												
	D 小学校4~6年生女子 3km	41	38	18																																																												
	E 中学生男子 3km	21	18	12																																																												
	F 中学生女子 3km	10	6	5																																																												
	G 高校・一般男子 3km	45	34	4																																																												
	H 高校・一般女子 3km	12	9	1																																																												
	I 高校・一般男子 5km	65	48	2																																																												
	J 高校・一般女子 5km	24	19	0																																																												
	K 高校・一般男子 10km	232	190	5																																																												
	L 高校・一般女子 10km	41	33	0																																																												
M 誰でも参加 (計測なし) 3km	94	67	31																																																													
計	702	558	126																																																													
成果	<p>前大会までは、前年の参加者に対して参加申込書を送付していたが、今大会より南部町広報・ホームページに大会開催を掲載し参加者を呼びかけた結果、前大会より176名少ない、702名の参加申込があった。</p> <p>大会当日は、マラソンには厳しい天候で、当日の参加受付は558名となり、昨年より152名ほど少ない大会となったが、参加者全員が完走し、参加者相互の親睦が図られた。</p>																																																															
評価と方向性	<p>今大会から参加募集方法を変更したことにより、前大会に比べ参加申込者が176名、当日受付者が152名の減少となったが、大会開催案内方法を変えたこと、種目別区分エントリーを1種目としたことなどが主な要因と考えられる。今後、今大会の開催案内方法など定着すれば、30回大会の歴史と今大会でも700名の申込みがある大会なので、今後とも大会を継続していきたい。</p>																																																															

第3回総合優勝制スポーツ大会		事業の評価	◎		
多様な生涯スポーツの振興2-(4)		総合評価	A		
概要	生涯スポーツ振興の観点から、青少年から高齢者まで、町民が生涯スポーツに親しみ、スポーツを生活に定着させていくために、町内対抗のスポーツ大会を開催した。				
実績	○ 対象者 町民運動会チーム単位の18チームが参加対象 (グラウンド・ゴルフ大会から始まってペタンク大会で終わる。)				
	○ 事業費 170千円				
	○ 種目 (結果発表は、町民運動会で行う。)				
	種目	開催日	開催場所	参加チーム	大会回数
	グラウンド・ゴルフ大会	平成25年5月19日	チェリリン村	14	第3回大会
	壮年ソフトボール大会	平成25年6月30日	南部中学校 他	13	
	ペタンク大会	平成25年7月28日	すぱーく・ながわ	14	
バウンドテニス大会	平成25年12月16日	名川B&G海洋センター	12	第4回大会	
軟式バレーボール大会	平成26年1月27日	町民体育館	13		
ユニホック大会	平成26年2月10日	町民体育館	10		
※平成25年度は、町民運動会が中止のため、結果発表と表彰は、スポーツフェスティバルで行った。					
成果	3年目となる今年度は、全18チーム中9チームが全種目に参加するなど、総合優勝制スポーツ大会に対する各チームの意識が向上してきている。				
評価と方向性	各種目に参加するチームが、だんだん多くなっており、スポーツ人口の底辺拡大とスポーツの日常化が図られている。 今後は、各種大会の結果を積極的に広報に掲載するなど、更に意識の向上を高め大会を盛り上げるとともに、体育協会加盟団体と連携を密にし、種目等の充実を図っていききたい。				

ニュースポーツフェスティバル		事業の評価	◎
多様な生涯スポーツの振興2-(4)		総合評価	A
概要	“身体を動かす機会がない” “ストレスの発散の場がない” 等のことから、ニュースポーツを通して町民の健康維持・増進を図るとともに、各地区との交流を深めながら仲間づくりを推進するために開催した。		
実績	対象者	南部町民	
	参加者数	69名	
	種目	グラウンド・ゴルフ、ペタンク、軟式バレーボール、フリースロー大会	
	開催日	12/1	
	開催場所	名川B&G海洋センター	
	事業費	37千円	
成果	中学生から一般までの幅広い参加者で、4種目のニュースポーツを行い、楽しいスポーツ体験とすることができた。また、今回、フリースロー大会を種目に取り入れ、参加者から好評を得ました。		
評価と方向性	ニュースポーツは、だれでも手軽に取り組むことができることから、今後も種目の精査等の努力をしていきたいと考えています。		

ニュースポーツ in スクール		事業の評価 ○
多様な生涯スポーツの振興 2 - (4)		総合評価 A
概要	青少年のスポーツ活動の充実とスポーツの普及を図るために、町内の小・中学校の要望に応じてスポーツ教室を開催した。	
実績	対象者	児童・生徒
	講師	21名（スポーツ指導員 21名）
	依頼者	名久井小学校 4年生から 6年生（名久井小学校はクラブ活動の一環としてニュースポーツ in スクールを申込みしている。）
	参加者数	延べ 156名（名久井小ニュースポーツクラブ 12名から 13名）
	状況	<ul style="list-style-type: none"> ・バウンドテニス：5/9～6/20 3回、2/27 1回 ・ユニホック：9/5～12/12 7回 ・グラウンド・ゴルフ：1/23～2/6 2回
	開催場所	名川 B&G 海洋センターアリーナ
	事業費	40千円
	成果	名久井小学校 4年生から 6年生のニュースポーツクラブからの要望だけで、ニュースポーツ活動としては思わしくなかったが、ニュースポーツの楽しみは、参加児童へ伝わったものと思われる。
評価と方向性	町内小・中学校の児童生徒の数からは、少々ではありますが、ニュースポーツレクリエーションの普及促進が図られていると思われる。 現状は名久井小からの要望のみであるが、「in スクール」はニュースポーツの普及に効果的な事業と考えられるので、今後は、他の小・中学校からも利用できるよう積極的な広報活動を行っていきたいと考えている。	

ニュースポーツ移動教室		事業の評価 ◎																																																
多様な生涯スポーツの振興 2 - (4)		総合評価 A																																																
概要	町内の各種団体からの要望により、場所を問わず出向きニュースポーツ移動教室を開催して、ニュースポーツ普及と地域住民の健康維持及び増進を図る。																																																	
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者 町内各種団体 ○ 参加者数 495名 (保護者含む) ○ 講師 12名 (スポーツ推進委員1名、スポーツ指導員11名) ○ 事業費 18千円 ○ 事業内容 																																																	
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">依頼者</th> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 20%;">場所</th> <th style="width: 20%;">種目</th> <th style="width: 15%;">参加者数 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南部小学校2年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>6/8</td> <td>南部小体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>名久井小学校5年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>6/22</td> <td>名川 B&G 海洋 センター</td> <td>ドッチビー</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>名川中学校1年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>7/20</td> <td>名川中体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>福地中学校1年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>8/8</td> <td>福地中体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>剣吉小学校5年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>9/28</td> <td>すばく・ながわ</td> <td>ターゲットバードゴルフ</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>向小学校1年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>10/5</td> <td>向小体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>南部中学校3年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>12/5</td> <td>南部中校庭</td> <td>グラウンド・ゴルフ</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>杉沢町内会</td> <td>12/11 12/18</td> <td>杉沢中体育館</td> <td>バウンドテニス</td> <td>20 20</td> </tr> </tbody> </table>			依頼者	開催日	場所	種目	参加者数 (名)	南部小学校2年生PTA (親子レクリエーション)	6/8	南部小体育館	ドッチビー	26	名久井小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	6/22	名川 B&G 海洋 センター	ドッチビー	57	名川中学校1年生PTA (親子レクリエーション)	7/20	名川中体育館	ドッチビー	106	福地中学校1年生PTA (親子レクリエーション)	8/8	福地中体育館	ドッチビー	86	剣吉小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	9/28	すばく・ながわ	ターゲットバードゴルフ	60	向小学校1年生PTA (親子レクリエーション)	10/5	向小体育館	ドッチビー	45	南部中学校3年生PTA (親子レクリエーション)	12/5	南部中校庭	グラウンド・ゴルフ	75	杉沢町内会	12/11 12/18	杉沢中体育館	バウンドテニス	20 20
	依頼者	開催日	場所	種目	参加者数 (名)																																													
	南部小学校2年生PTA (親子レクリエーション)	6/8	南部小体育館	ドッチビー	26																																													
	名久井小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	6/22	名川 B&G 海洋 センター	ドッチビー	57																																													
	名川中学校1年生PTA (親子レクリエーション)	7/20	名川中体育館	ドッチビー	106																																													
	福地中学校1年生PTA (親子レクリエーション)	8/8	福地中体育館	ドッチビー	86																																													
	剣吉小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	9/28	すばく・ながわ	ターゲットバードゴルフ	60																																													
	向小学校1年生PTA (親子レクリエーション)	10/5	向小体育館	ドッチビー	45																																													
	南部中学校3年生PTA (親子レクリエーション)	12/5	南部中校庭	グラウンド・ゴルフ	75																																													
杉沢町内会	12/11 12/18	杉沢中体育館	バウンドテニス	20 20																																														
成果	今年の名川中学校1年生・福地中学校1年生・南部中学校3年生のPTAからの依頼数が増え、事業の拡大が図られた。																																																	
評価と方向性	担当者が出向き、どこでもニュースポーツの体験ができるため、利用者に大変喜ばれている。今後は、移動教室の利用者を増やしていきたい。																																																	

転倒・寝たきり予防教室		事業の評価	◎														
社会教育指導の重点との関連		2 - (4)	総合評価														
			A														
概要	<p>転倒・寝たきり予防教室は、町内の介護サービスを受けていない高齢者を対象に行っているもので、運動の楽しさや重要性を知ってもらい、運動の習慣化を促し、参加者の生きがいづくりを目指すものである。</p> <p>高齢者の介護予防にもつながることから健康福祉課と共催している。</p>																
実績	<table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>介護サービスを受けていない60歳以上の方</td> </tr> <tr> <td>参加者数 開催回数</td> <td>南部地区：33名(延べ 314名) 福地地区：28名(延べ 285名) 名川地区：35名(延べ 318名) 合計36回(12回/1地区)</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>南部地区：平成25年5月～7月 福地地区：平成25年9月～11月 名川地区：平成26年1月～3月</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>健脚度測定(10m全力歩行、最大一歩幅、40cm踏み台昇降)、介護予防運動、歩行指導(つぎ足歩行)、筋力トレーニング、リズム体操 レクリエーション、ニュースポーツ(グランドゴルフ、ニチレクボール) 各種講話(栄養指導、薬の正しい飲み方)、 骨密度・筋肉量計測</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>運動指導士2名、薬剤師1名、栄養士1名 計4名</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>南部公民館(南部地区)、福寿館(福地地区)、名川B&G海洋センター(名川地区)</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>192千円</td> </tr> </table>			対象者	介護サービスを受けていない60歳以上の方	参加者数 開催回数	南部地区：33名(延べ 314名) 福地地区：28名(延べ 285名) 名川地区：35名(延べ 318名) 合計36回(12回/1地区)	開催期間	南部地区：平成25年5月～7月 福地地区：平成25年9月～11月 名川地区：平成26年1月～3月	事業内容	健脚度測定(10m全力歩行、最大一歩幅、40cm踏み台昇降)、介護予防運動、歩行指導(つぎ足歩行)、筋力トレーニング、リズム体操 レクリエーション、ニュースポーツ(グランドゴルフ、ニチレクボール) 各種講話(栄養指導、薬の正しい飲み方)、 骨密度・筋肉量計測	講師	運動指導士2名、薬剤師1名、栄養士1名 計4名	開催場所	南部公民館(南部地区)、福寿館(福地地区)、名川B&G海洋センター(名川地区)	事業費	192千円
対象者	介護サービスを受けていない60歳以上の方																
参加者数 開催回数	南部地区：33名(延べ 314名) 福地地区：28名(延べ 285名) 名川地区：35名(延べ 318名) 合計36回(12回/1地区)																
開催期間	南部地区：平成25年5月～7月 福地地区：平成25年9月～11月 名川地区：平成26年1月～3月																
事業内容	健脚度測定(10m全力歩行、最大一歩幅、40cm踏み台昇降)、介護予防運動、歩行指導(つぎ足歩行)、筋力トレーニング、リズム体操 レクリエーション、ニュースポーツ(グランドゴルフ、ニチレクボール) 各種講話(栄養指導、薬の正しい飲み方)、 骨密度・筋肉量計測																
講師	運動指導士2名、薬剤師1名、栄養士1名 計4名																
開催場所	南部公民館(南部地区)、福寿館(福地地区)、名川B&G海洋センター(名川地区)																
事業費	192千円																
成果	<p>地区毎の参加者が3ヵ月に渡る運動のプログラムを行い、初日と最終日の健脚度測定結果を評価することで自分自身の移動能力を認識することができ、運動指導する面では、参加者の見つけた課題をリスク管理する上で重要な情報となった。</p> <p>また、集団で行う運動を通して、参加者の心身の健康増進に効果を上げることができた。</p>																
評価と方向性	<p>健脚度測定により参加者自身の運動レベルを知り、体を動かすことの必要性を感じ、また、運動を楽しく簡単に実践できるため、今後も運動を指導・紹介しながら、日常生活での運動継続を促し、多くの高齢者が介護を受けないような健康な体でいられるように事業を進めていきたい。</p> <p>さらに、栄養士や薬剤師の講話により、食事面など日常生活で役立つ知識を得る機会となっていることから、今後も継続し、参加者の健康維持・増進に寄与していきたい。</p>																

水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム		事業の評価	◎
社会教育指導の重点との関連 2- (3)		総合評価	A
概要	事業参加校の要望により、参加校の小学生が年間を通して、如来堂川の水生生物調査及び水質調査による自然環境と馬淵川の鮭の生態について学ぶとともに、あわせて、水に対する安全を学び、水の事故に対処できるよう取り組む。		
実績	自然環境、水生生物、安全学習、海洋性レクリエーション等についての体験や実験、物づくりを指導した。		
	対象者数	福田小学校：4学年 34名 名久井小学校：4学年 41名 名川南小学校：3・4学年 5名 5・6学年 6名 安全学習（着衣泳）と海洋性レクリエーションは全校生徒 22名	
	開催回数	福田小学校：6回 名久井小学校：7回 名川南小学校：11回	
	開催期間	平成25年4月～平成26年3月	
	開催場所	福田小学校：如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、 福田小学校、名川B&G海洋センタープール、 東北町海洋センター艇庫 名久井小学校：如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、 名久井小学校、名川B&G海洋センタープール、 名川南小学校：如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、 名川南小学校、東北町海洋センター艇庫	
事業費	39千円		
成果	水に関わる活動により、身近な自然環境に興味を持つ児童が増えるとともに、自然環境や生命に対する意識の向上が見られた。		
評価と方向性	児童は積極的に活動しており、全体的に学習意欲も見られたため、今後、事業を進める上で地域フィールドにあった内容を取り入れ、事業を充実させていきたい。 平成25年度から福田小学校でも事業を導入し、年間を通して活動した。今後も継続し、事業の定着を目指していきたい。		

B&G会長杯三戸郡下中学校バレーボール大会		事業の評価	◎
社会教育指導の重点との関連 2-(4)		総合評価	A
概要	三戸郡下中学校バレーボール部相互の親睦と、技術の向上を図るため、三戸郡中学校体育連盟と共催した。		
実績	対象者	三戸郡内中学校バレーボール部	
	開催日	4/27～4/28	
	開催場所	南部町立名川中学校 体育館	
	参加チーム	男子2チーム(五戸中学校、田子中学校) 女子5チーム(五戸中学校、田子中学校、階上中学校、川内中学校、名川中学校)	
	事業費	55千円	
成果	バレーボール競技を通じた選手同士の技術向上のみならず、審判員や大会運営を担う参加中学校バレーボール部監督・コーチ及び町バレーボール協会会員相互の交流及び資質向上にもつながっている。		
評価と方向性	春季青森県大会の予選会も兼ねており、各チームが出場権を獲得するため日々練習に励み、競技を通じて技術を磨くとともに、選手同士の交流を深める場にもなっている。 大会運営事務局として、選手や審判員の方々をサポートしながら、競技スポーツの振興に寄与していきたい。		

B&G全国ジュニア水泳競技大会		事業の評価	◎	
社会教育指導の重点との関連 2-(4)		総合評価	A	
概要	B&Gスポーツ大会青森県大会に出場し、B&G財団が定める標準記録を突破した当町代表選手を、B&G財団が主催する水泳大会に参加させた。			
実績	当町代表選手4名を青森県連絡協議会チームとして参加させた。 参加者数			
	学校名	学年	性別	参加人数
	向小学校	6	男	1名
	福地小学校	6	女	1名
	名久井小学校	3	男	1名
6		女	1名	
合計			4名	
○ 開催日	公式練習：8/16 大会：8/17			
○ 開催場所	東京辰巳国際水泳場			
○ 事業費	45千円			
成果	全国の選手と競技・交流し、水泳競技の楽しさを再確認するとともに、競技力向上に対する意欲の向上がみられた。			
評価と方向性	「スイマーの聖地」といわれる東京辰巳国際水泳場で、全国の選手と競技・交流する貴重な機会であるため、今後も継続して選手を参加させていきたい。			

B & Gスポーツ大会青森県大会		事業の評価	◎	
社会教育指導の重点との関連 2 - (4)		総合評価	A	
概要	B & G財団地域海洋センター青森県連絡協議会が主催する水泳、カヌー・OPヨットの大会に、当町海洋センターから代表選手を参加させた。(※OPヨット：ジュニア専用のヨット)			
実績	水泳の部に当町代表選手 9 名を参加させ、当町海洋センター職員 3 名が選手を引率するとともに、大会当日はスタッフとして従事した。			
	参加者数			
	学校名	学年	性別	参加人数
	向小学校	6	男	3名
	杉沢小学校	6	男	1名
			女	1名
	名久井小学校	3	男	1名
		6	女	2名
	福地小学校	6	女	1名
	合 計			9名
	○ 開催日 前泊：7/29 大会：7/30			
	○ 開催場所 岩木B & G海洋センタープール			
	○ 事業費 74千円			
成果	他市町村の選手と競技・交流し、水泳競技の楽しさを再確認することができた。			
評価と方向性	他市町村の選手と競技・交流する貴重な機会であるため、今後も継続して選手を参加させていきたい。			

がんばろう東北！ニュースポーツ交流大会		事業の評価	○
社会教育指導の重点との関連 2 - (4)		総合評価	B
概要	B & G財団地域海洋センター東北ブロック連絡協議会が主催するニュースポーツ交流大会（ドッチビー、ニチレクボール）に、当町から小学生を参加させた。		
実績	当町小学生 5 名を参加させ、当町海洋センター職員 3 名が選手を引率するとともに、大会当日はスタッフとして従事した。		
	参加者数 5名 (名久井小学校 5年生)		
	○ 開催日 2/8		
	○ 開催場所 十和田湖総合運動公園体育館		
	○ 事業費 一 円		
成果	ニュースポーツを通して、他市町村の子どもたちと交流を深めることができた。 ただし、東北地区海洋センターの参加交流大会であったが、2月8日の真冬であったためか、他県の海洋センターからは岩手県軽米町の参加だけで、開催地の青森県も少なかった。		
評価と方向性	他市町村の選手と競技・交流する貴重な機会であるため、適切な時期に大会を開催し多くの海洋センターから参加できるよう協議会にお願いして、今後も継続して選手を参加させていきたい。		

B&Gクリーンフェスティバルなんぶ		事業の評価	◎																																									
社会教育指導の重点との関連 2-(4)		総合評価	A																																									
概要	<p>カヌー体験教室を実施することによる海洋性レクリエーションの普及、及び水辺の安全教室による川や海での自助意識の向上、並びにクリーン作戦による環境保全の意識づけを図っていく。 社会教育課が主催する「ふるさと楽習キャンプ」のプログラムの一つとして開催した。</p>																																											
実績	対象者	町内小学校 4年生～6年生																																										
	参加者数	・20名の参加																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>学年</th> <th>性別</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名久井小学校</td> <td>4</td> <td>女</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>女</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">剣吉小学校</td> <td>4</td> <td>女</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>女</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>男</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">向小学校</td> <td>4</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>福田小学校</td> <td>5</td> <td>女</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>名川南小学校</td> <td>4</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	学年	性別	参加人数	名久井小学校	4	女	1名	6	女	4名	剣吉小学校	4	女	2名	5	女	4名	6	男	5名	向小学校	4	男	1名	6	男	1名	福田小学校	5	女	1名	名川南小学校	4	男	1名	合 計			20名
		学校名	学年	性別	参加人数																																							
		名久井小学校	4	女	1名																																							
			6	女	4名																																							
		剣吉小学校	4	女	2名																																							
5			女	4名																																								
6			男	5名																																								
向小学校		4	男	1名																																								
	6	男	1名																																									
福田小学校	5	女	1名																																									
名川南小学校	4	男	1名																																									
合 計			20名																																									
事業内容	カヌー体験、ライフジャケット浮遊体験、 名川B&G海洋センター周辺の清掃活動																																											
開催日	8/8																																											
開催場所	名川B&G海洋センタープール 他																																											
事業費	— 円																																											
成果	<p>水辺での活動の楽しさを学ぶと同時に、ライフジャケット浮遊で、自分の命を自分で守るという自助意識を高める機会を提供することができた。 清掃活動は、名川B&G海洋センターの周辺であったが、地域を綺麗にすることにより、海・川への水辺での環境保全に対する意識づけが図られた。</p>																																											
評価と方向性	<p>海洋性レクリエーションと清掃活動を併せて行うことで、水辺での自助意識の大切さを認識するとともに、環境保全への意識が高められることから、今後も、青少年の健全育成のため事業を継続していきたい。</p>																																											

水辺の安全教室		事業の評価 ◎
社会教育指導の重点との関連 2-(3)		総合評価 A
概要	<p>“自分の命は自分で守る自助意識”を身に付けさせるため、パネルを使った安全教育や着衣泳、救助法、ライフジャケット浮遊を学習・体験させた。</p>	
実績	<p>福田小学校 4年生、名久井小学校 4年生、名川南小学校の全児童を対象に「水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム」の活動として実施した。 B&Gスポーツ大会青森県大会出場選手を対象とした水辺の安全教室に、当町代表選手 9名も参加した。</p>	
	福田小学校	
	参加者	4年生 34名
	開催日	7/16
	開催場所	名川B&G海洋センタープール
	名久井小学校	
	参加者	4年生 41名
	開催日	9/5
	開催場所	名川B&G海洋センタープール
	名川南小学校	
	参加者	全校児童 23名
	開催日	8/29
	開催場所	名川南小学校プール
	県内小中学生	
	参加者	B&Gスポーツ大会青森県大会水泳競技参加者 50名 (うち南部町選手 9名)
開催日	7/30	
開催場所	岩木B&G海洋センタープール	
成果	<p>着衣状態で水中を動くことの難しさや水難時の状況を体感させ、その対処法や救助法を学習したことで、自助意識を高めることができた。</p>	
評価と方向性	<p>毎年全国で水の事故が発生している現状から、安全に水辺で活動するために必要な体験学習であるため、今後も継続して実施していきたい。</p>	

初心者水泳教室		事業の評価	◎																																																
社会教育指導の重点との関連 2 - (4)		総合評価	A																																																
概要	町内小学校低学年の児童を対象に水泳教室を実施することで、水の怖さを克服し、水泳に対する興味を持ってもらうために開催した。																																																		
実績	<p>○ 対象者 町内小学校1年生～3年生</p> <p>○ 参加者 18名 (延べ68名)</p> <p>○ 開催日 9/2～9/5</p> <p>○ 時間 17:00～18:00</p> <p>○ 開催場所 名川B&G海洋センタープール</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>学年</th> <th>性別</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福地小学校</td> <td>3</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">福田小学校</td> <td>1</td> <td>女</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>女</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">名久井小学校</td> <td rowspan="2">1</td> <td>男</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>剣吉小学校</td> <td>2</td> <td>男</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>名川南小学校</td> <td>2</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>向小学校</td> <td>1</td> <td>女</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">南部小学校</td> <td rowspan="2">1</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合 計</td> <td>18名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 事業費 一 円</p>			学校名	学年	性別	参加人数	福地小学校	3	男	1名	福田小学校	1	女	1名	3	女	1名	名久井小学校	1	男	2名	女	2名	2	男	1名	女	2名	剣吉小学校	2	男	2名	名川南小学校	2	男	1名	向小学校	1	女	1名	南部小学校	1	男	1名	女	3名	合 計			18名
学校名	学年	性別	参加人数																																																
福地小学校	3	男	1名																																																
福田小学校	1	女	1名																																																
	3	女	1名																																																
名久井小学校	1	男	2名																																																
		女	2名																																																
	2	男	1名																																																
		女	2名																																																
剣吉小学校	2	男	2名																																																
名川南小学校	2	男	1名																																																
向小学校	1	女	1名																																																
南部小学校	1	男	1名																																																
		女	3名																																																
合 計			18名																																																
成果	参加者には、水に親しませることで、泳げない児童もわずかながら泳げるようになった。この結果、児童たちに泳ぐ喜びを感じさせることができた。																																																		
評価と方向性	小学校低学年は、泳げない児童が多いことから、レベルに合わせた水泳の基本動作などの指導を行い、児童に泳げるという動機付けをさせるため、また、学校と共同で行っている水泳教室事業にもつなげるように、今後も事業は継続していきたい。																																																		

小学校水泳教室		事業の評価	◎																											
社会教育指導の重点との関連 2-(4)		総合評価	A																											
概要	水や水泳をよく理解してもらい、水泳に対する興味を持ってもらうとともに、水泳の技術向上を図るために、町内小学校から授業での水泳指導依頼があった場合に、名川B&G海洋センター職員が協力する。																													
実績	<table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>名川南小学校：全校生徒</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>名久井小学校：全校生徒</td> <td>167名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>剣吉小学校：全校生徒</td> <td>153名</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>名川南小学校 全12回</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>名久井小学校 全14回</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>剣吉小学校 全4回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td colspan="2">6月～8月 (事業時間単位)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td colspan="2">名川B&G海洋センタープール 名川南小学校プール</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td colspan="2">一 円</td> </tr> </table>			対象者	名川南小学校：全校生徒	22名		名久井小学校：全校生徒	167名		剣吉小学校：全校生徒	153名	開催回数	名川南小学校 全12回			名久井小学校 全14回			剣吉小学校 全4回		開催期間	6月～8月 (事業時間単位)		開催場所	名川B&G海洋センタープール 名川南小学校プール		事業費	一 円	
対象者	名川南小学校：全校生徒	22名																												
	名久井小学校：全校生徒	167名																												
	剣吉小学校：全校生徒	153名																												
開催回数	名川南小学校 全12回																													
	名久井小学校 全14回																													
	剣吉小学校 全4回																													
開催期間	6月～8月 (事業時間単位)																													
開催場所	名川B&G海洋センタープール 名川南小学校プール																													
事業費	一 円																													
成果	各小学校の教諭と連携して、泳力の低い児童のレベルを確認し、児童に応じた指導方法を行ったことで、それぞれの児童の泳力の向上が見られた。																													
評価と方向性	<p>参加者のレベルに合わせてながら泳げる喜びを体感できるような指導を行うことで、水泳に対する意識の高揚、水泳技術の向上が期待できる。</p> <p>今後も、指導内容の検討と成果のフィードバックを行い、より良い方法を模索しながら教室を継続していきたい。</p>																													

第7回南部町縦断駅伝競走大会		事業の評価	◎
社会教育指導の重点との関連 2-(4)		総合評価	A
概要	陸上競技のレベルアップを目的に、小学生から一般までを対象に開催した。		
実績	事故等のトラブルもなく全チームが完走した。		
	参加チーム	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内小学校 13チーム (名久井小2、剣吉小2、福地小2、福田小2、向小2、南部小1、岩手県山田町小学校2) ○ 三戸郡中学校男子 9チーム (福地中、杉沢中、名川中2、南部中2、五戸中、三戸中、新郷村中学生) ○ 三戸郡中学校女子 7チーム (福地中、名川中、南部中、杉沢中、五戸中、三戸中2) ○ 町内クラブ・地区編成 3チーム 三戸郡一般 3チーム <p style="text-align: right;">合計 35チーム</p>	
	開催日	11/10	
	開催場所	<p>コース (南部町内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内小学校、三戸郡中学校女子、町内クラブ・地区編成 スタート：三戸駅前 ゴール：ふるさと運動公園陸上競技場 ○ 三戸郡中学校男子、三戸郡一般 スタート：三戸駅前 ゴール：ふくち運動公園多目的広場 	
事業費	464千円 90千円 (参加料：一般会計の雑入へ)		
成果	陸上競技の普及と参加者のレベルアップに、つなげることができた。		
評価と方向性	<p>陸上競技の普及と児童生徒の競技力向上、また、児童生徒の練習の成果を発揮する一年間の総仕上げの大会であるため、今後も継続していきたい。</p> <p>三戸警察署より現行のコースが事故の危険性が高いことを指摘されているため、来年度においてコース変更も視野に入れ、検討会を実施する予定である。</p>		

第21回青森県民駅伝競走大会実行委員会補助金事業		事業の評価	◎																																								
社会教育指導の重点との関連 2-(4)		総合評価	A																																								
概要	<p>青森県民駅伝競走大会南部町実行委員会に対して補助金を交付し、町内中学生以上の候補選手を選考し、強化練習や試走等を実施した。 実行委員会の事務局は、名川B&G海洋センターが担当した。</p>																																										
実績	<p>平成25年5月13日に南部町実行委員会を組織してから大会までは、鹿角駅伝への参加、35回の練習会、2回の試走会、2回のスタッフ会議等を実施し、選手の育成・強化に努めた。大会当日は、32名の実行委員・町関係職員が選手をサポートした。 結果は、総合第2位、町の部優勝の成績を収めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 青森県参加チーム数 40市町村 ○ 南部町登録選手 15名 (男11名・女4名) ○ 南部町候補選手 42名 (男29名・女13名) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>所 属</th> <th>男 (名)</th> <th>女 (名)</th> <th>合計 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福地中学校</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>杉沢中学校</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>名川中学校</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>南部中学校</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>青森山田高校</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>国土舘大学</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>山梨学院大学</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>陸上競技協会</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>29</td> <td>13</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大会日 9/1 ○ 開催場所 青森市内 ○ 事業費 実行委員会への町からの補助金：1,160千円 (県から実行委員会へ：60千円) 			所 属	男 (名)	女 (名)	合計 (名)	福地中学校	4	5	9	杉沢中学校	2	0	2	名川中学校	8	2	10	南部中学校	2	2	4	青森山田高校	6	4	10	国土舘大学	2	0	2	山梨学院大学	1	0	1	陸上競技協会	4	0	4	合 計	29	13	42
所 属	男 (名)	女 (名)	合計 (名)																																								
福地中学校	4	5	9																																								
杉沢中学校	2	0	2																																								
名川中学校	8	2	10																																								
南部中学校	2	2	4																																								
青森山田高校	6	4	10																																								
国土舘大学	2	0	2																																								
山梨学院大学	1	0	1																																								
陸上競技協会	4	0	4																																								
合 計	29	13	42																																								
成果	<p>陸上競技の普及と選手のレベルアップのほか、町民の一体感を盛り上げ、町勢の発展とスポーツの振興が図られた。</p>																																										
評価と方向性	<p>中学生から一般までを対象にした大会であるため、陸上競技の普及・振興につながっている。 町の名を背負って走る大会でもあることから、長距離ランナーの出場を望む思いが強く、また、大会がテレビ中継され町民の関心も大きく、今後も大会での上位入賞の活躍を期待し、事業を継続していきたい。</p>																																										

安全・安心な給食		事業の評価	◎
		学校教育指導の重点との関連 (1)	総合評価
			A
概要	より安全・安心なおいしい給食を供給するため、調理の効率化に努める。		
実績	下処理から調理までの食材の流れ（作業動線図）を図面にし、それに従った作業することで安全な給食を供給することに努めた。 月に一回、南部町産の食材の放射性物質測定検査を行い、安全な食材を使用することに努めた。		
成果	下処理から調理までの流れを一方通行させることにより、衛生的で安全な給食の供給ができた。		
評価と方向性	衛生管理を徹底し、今後も「安全・安心な給食」の供給に努める。		

バランスのとれた給食		事業の評価	◎
		学校教育指導の重点との関連 (2)	総合評価
			A
概要	栄養バランスのとれた食事を身につけさせるため、各種行事等で食事指導を図る。		
実績	栄養士によるバイキング式給食時の給食指導・食育授業等で、栄養バランスのとれた食事の重要性の指導を行った。		
	給食センター見学への対応	町内小学校：5回 八戸東学校給食センター：1回	
	食育授業による栄養指導	町内小学校8校 中学校4校：40回	
	健康面談	町内中学校1校：4回	
	就学時児童への給食説明会及び試食会	町内幼稚園・保育園 2施設：2回	
	子ども会食育教室	名川地区子ども会：1回	
	バイキング式給食	町内小中学校11校・幼稚園2園：15回	
	成果	規則正しい「食事」をすることが、心身の健康増進と人間形成に重要なことを理解してもらうことができた。	
評価と方向性	学校での給食をとおした食育により、からだのしくみ、食べものはたらき、バランスのとれた食事など、栄養の知識を得ることで自分の健康について考え、何でも食べることの大切さの指導を勧めていく。		

手作り感ある給食		事業の評価	◎
学校教育指導の重点との関連 (3)		総合評価	A
概要	限られた作業時間内における、ひと手間感あふれる給食への工夫に努める。		
実績	<p>着色剤を使用していない食材を用いること、塩分を控えめにするこ、食欲が増すような彩りや、素材そのものの味を引き出せるような調理の工夫に努めた。</p> <p>苦手な食材も摂取できるように、「刻み納豆のほうれん草和え」、「ピーマン・ナス入り野菜炒め」などの調理の工夫に努めた。</p>		
成果	苦手な食材も和え物や炒め物に使用して、手作り感のある給食を供給することにより、子ども達の野菜離れを少なくするとともに食べ物本来の色や味を重視した給食を供給できた。		
評価と方向性	<p>外食や購入した物を1人で食べる「孤食」が増えている状況において、みんなが一緒に食事をする学校給食で友情や連帯感を育むことができる。更に、一手間加えた手作り感のある給食を供給することにより、食への感謝の心を育てられるよう努める。</p>		

季節感ある給食		事業の評価	◎				
学校教育指導の重点との関連 (4)		総合評価	A				
概要	旬の食材を取り入れた伝統食、郷土食を供給し季節感をもたせる。						
実績	<p>食育月間(6月・11月)には、特に郷土食をとり入れ、また、南部町鍋条例による鍋の日(毎月22日)には、南部町産の食材を使用した給食の供給に努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">伝統食</td> <td>せんべい汁・ひつつみ・菊のり味噌汁・白菜汁(鍋)</td> </tr> <tr> <td>郷土食</td> <td>みそ大根・なんばんみそ・さくらんぼ・りんご・^{うま}味のほね</td> </tr> </table>			伝統食	せんべい汁・ひつつみ・菊のり味噌汁・白菜汁(鍋)	郷土食	みそ大根・なんばんみそ・さくらんぼ・りんご・ ^{うま} 味のほね
伝統食	せんべい汁・ひつつみ・菊のり味噌汁・白菜汁(鍋)						
郷土食	みそ大根・なんばんみそ・さくらんぼ・りんご・ ^{うま} 味のほね						
成果	旬の食材を取り入れることにより、食を通し季節を感じていただくとともに、南部地方の郷土食「馬肉汁」や、津軽地方の「けの汁」などを供給し、食文化の奥深さを体験させることができた。						
評価と方向性	季節感と風土を重視した献立にし、児童生徒が南部町の食文化に興味を持つような給食の供給に努める工夫する。						

地産地消の給食		事業の評価 ◎
学校教育指導の重点との関連 (5)		総合評価 A
概要	地元の産物を活用することにより、地域の理解を深める。	
実績	<p>給食時間の放送用原稿を作成して、給食に使用している地元産の食材への理解につながるよう指導した。</p> <p>また、個々に配布している「給食だより」を利用し、児童・生徒へ地元産の食材を周知させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米穀は南部町（福地）産「つがるロマン」100%使用 ・南部町産の食材の使用率 22.6% ・青森県産の食材の使用率 56.2% ・「給食だより」に地元産物の使用状況を掲載。 	
成果	給食時間の放送用原稿や「給食だより」を活用し、給食に使用している身近な安心・安全・エコな食材を啓蒙することにより、地域への理解を深めるとともに、地元産のコメ・野菜・果物の消費が図られた。	
評価と方向性	<p>年々、南部町の農家からの給食用食材の納品が減っており、地元産の野菜や果物を入手することが困難になってきている。安定供給できる地元産の食材を選び、その食材を活用した献立にするよう努める。</p> <p>食育授業では、南部町の農業と学校給食との関わりについての指導を継続する。</p>	

教育委員会活動の状況

1 教育委員会委員構成

H25.4.5 現在

職 名	氏 名	任 期 期 間
教育委員長	中 村 祐 子	H23.3.26 ~ H27.3.15 (H25.4.5 ~ H26.4.4)
教育委員長職務代行者	佐 藤 俊 男	H22.4.5 ~ H26.4.4 (H25.4.5 ~ H26.4.4)
委 員	宮 本 佳 悦	H25.3.16 ~ H29.3.15
委 員	境 久 孝	H22.4.5 ~ H26.4.4
教 育 長	山 田 義 雄	H24.4.1 ~ H28.3.31

* 括弧は、委員長・職務代行者任期

2 教育委員会の活動概要

(1) 学校訪問

学校等の教育関連施設を訪問して教育現場の状況を把握する

小学校 4校、中学校 2校の学校訪問を実施

訪問月日	訪 問 校
H25年9月18日	福地中学校、福田小学校
H25年10月16日	名川中学校、向小学校
H25年11月20日	剣吉小学校、名川南小学校

(2) 会議・研修会

* 研修会等に参加し、委員としての幅広い見識(識見)を養う

開催月日	会 議・研 修 会 名	出 張 先	出席者数
5月23日	県市町村教育委員会委員定期総会・研修会	青森市	3人
7月11日	三戸郡教育振興会町村教育委員研修	岩手県山田町	5人
10月23日	郡教育委員秋季研修会	階上町	5人
11月13日	市町村教育委員会委員長・教育長合同研修会	青森市	2人

(3)各種行事・大会等

* その他、下記の各種行事・大会に参加

開催月日	行事・大会名	開催月日	行事・大会名
4月6日	杉沢小学校入学式	10月6日	名川幼稚園運動会
4月6日	向小学校入学式	10月12日	名久井小学校学芸発表会
4月6日	南部小学校入学式	10月12日	杉沢小学校学芸発表会
4月6日	杉沢中学校入学式	10月19日	名川中学校文化祭
4月6日	南部中学校入学式	10月20日	南部中学校文化祭
4月8日	南部幼稚園入園式	10月20日	杉沢中学校文化祭
4月8日	福地小学校入学式	10月20日	福地中学校文化祭
4月8日	福田小学校入学式	10月26日	福地小学校学芸発表会
4月8日	剣吉小学校入学式	10月26日	福田小学校学芸発表会
4月8日	名久井小学校入学式	10月26日	南部小学校学芸発表会
4月8日	名川南小学校入学式	10月27日	向小学校学芸発表会
4月8日	福地中学校入学式	10月27日	剣吉小学校学芸発表会
4月8日	名川中学校入学式	10月27日	名川南小学校学芸発表会
4月18日	南部町教育大会	10月27日	南部幼稚園生活発表会
4月21日	うぐいすマラソン大会	12月6日	南部町中学生海外派遣事業報告会
5月18日	向小学校運動会	12月8日	名川幼稚園おゆうぎ会
5月18日	名川中学校体育祭	1月12日	南部町成人式
5月18日	杉沢小・中学区合同運動会	2月25日	郡教育振興会定期総会
5月19日	南部中学校体育祭	2月25日	町文化賞・スポーツ賞授与式
5月25日	福地小学校運動会	3月8日	福地中学校卒業式
5月26日	福田小学校運動会	3月8日	名川中学校卒業式
5月26日	剣吉小学校運動会	3月8日	南部中学校卒業式
5月26日	名久井小学校運動会	3月8日	杉沢中学校卒業式
5月26日	名川南小学校運動会	3月14日	名川幼稚園卒園式
5月26日	南部小学校運動会	3月14日	南部幼稚園卒園式
6月15日	三戸郡中学校体育大会開会式	3月20日	名久井小学校卒業式
6月21日	町小学校陸上競技記録会	3月20日	福地小学校卒業式
8月25日	福地中学校体育祭	3月20日	福田小学校卒業式
9月22日	南部七唄・七踊り全国大会	3月20日	杉沢小学校卒業式
9月29日	南部幼稚園運動会	3月20日	剣吉小学校卒業式
		3月20日	向小学校卒業式
		3月20日	南部小学校卒業式
		3月22日	名川南小学校卒業式

3 教育委員会会議

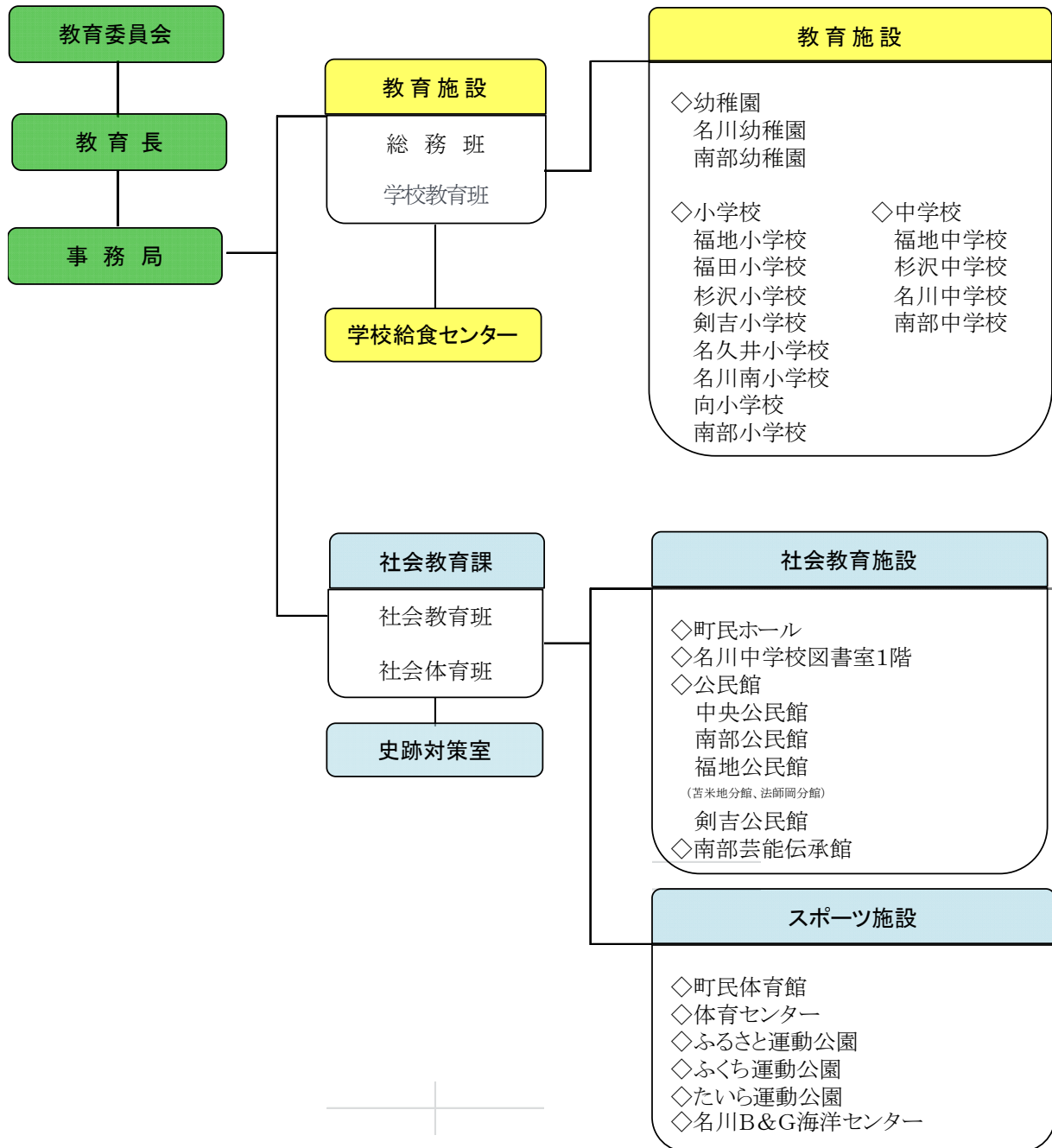
月1回の定例会

開催日	会議	議案番号等	案 件
H25年4月24日	第94回	報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 報告第5号 報告第6号 議案第1号	平成25年度要保護・準要保護児童生徒の解除及び認定（追加）について 平成25年度南部町スクールサポーターの委嘱について 平成25年度通学区域外就学の承諾について 平成25年度区域外就学の承諾について 南部町教育委員会事務局職員の人事異動について 南部町立南部幼稚園園長の発令について 南部町就学指導委員会委員の委嘱について
H25年5月22日	第95回	報告第7号 報告第8号 報告第9号	平成25年度要保護・準要保護児童生徒の認定（追加）について 南部町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 南部町社会教育委員の委嘱について
H25年6月19日	第96回	報告第10号 報告第11号 報告第12号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号	平成25年度要保護・準要保護児童生徒の解除及び認定（追加）について 平成25年度区域外就学の承諾について 南部町教育関係補正予算（第1号）について 南部町奨学基金の貸付について 南部町立幼稚園保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則について 南部町私立幼稚園就園奨励費補助金交付規程の一部を改正する訓令の制定について 南部町遺跡発掘作業員の雇用等の試行に関する規程の制定について
H25年7月18日	第97回	報告第13号 報告第14号 報告第15号 議案第6号 議案第7号	平成25年度要保護・準要保護児童生徒の認定（追加）について 平成25年度区域外就学の承諾について 平成25年度就学指導委員会の判定について 教育財産の取得の申出について 南部町立福地中学校学校評議員の委嘱について
H25年8月22日	第98回	報告第16号 報告第17号	平成25年度特別支援教育就学奨励費の支弁区分の認定について 外国語指導員の再任用について
H25年9月18日	第99回	報告第18号 報告第19号 報告第20号 報告第21号 報告第22号 議案第8号	平成25年度南部町教育関係補正予算（第2号）について 平成24年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について 平成24年度南部町学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について 平成25年度区域外就学の承諾について 平成25年度要保護・準要保護児童生徒の認定（追加）について 南部町通学路安全連絡協議会設置要綱の制定について
H25年10月16日	第100回	報告第23号 報告第24号 報告第25号 議案第9号 議案第10号 議案第11号	平成25年度要保護・準要保護児童生徒の認定（追加）について 平成25年度就学指導委員会の判定について 平成25年度区域外就学の承諾について 南部町文化賞・南部町スポーツ賞表彰審査会委員の委嘱について 南部町通学路安全連絡協議会委員の委嘱について 南部町立福田小学校学校評議員の委嘱について
H25年11月18日	第101回	報告第26号 報告第27号	平成25年度要保護・準要保護児童生徒の解除及び認定（追加）について 県費負担教職員の内申について
H25年12月20日	第102回	報告第28号 報告第29号 報告第30号 報告第31号	平成25年度要保護・準要保護児童生徒の解除及び認定（追加）について 平成25年度南部町教育関係補正予算（第5号）について 平成25年度南部町学校給食センター特別会計補正予算（第1号）について 県費負担教職員の内申について

開催日	会議	議案番号等	案 件
H25年12月20日	第102回	報告第32号 議案第12号	平成25年度就学指導委員会の判定について 平成25年度南部町文化賞・南部町スポーツ賞被表彰者の決定について
H26年1月22日	第103回	報告第33号 報告第34号 議案第13号 議案第14号 議案第15号	南部町文化財の指定解除について 平成25年度 要保護・準要保護児童生徒の解除について 南部町立幼稚園の休園について 平成25年度南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書について（平成24年度実績） 南部町教育委員会の感謝状贈呈事務取扱要綱の制定について
H26年2月18日	第104回	報告第35号 報告第36号 報告第37号 報告第38号 報告第39号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号	平成25年度要保護・準要保護児童生徒の解除及び認定（追加）について 平成25年度区域外就学の承諾について 平成25年度通学区域外就学の承諾について 県費負担教職員の内申について 感謝状の贈呈について 県費負担教職員（校長等）の異動の内申について 南部町学校給食費滞納整理等事務処理要綱の制定について 平成26年度区域外就学の承諾について 平成26年度通学区域外就学の承諾について
H26年3月19日	第105回	報告第40号 報告第41号 報告第42号 報告第43号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号	平成25年度 要保護・準要保護児童生徒の認定（追加）について 平成25年度南部町教育関係補正予算（第7号）について 平成26年度南部町教育関係予算（当初）について 平成26年度南部町学校給食センター特別会計予算（当初）について 平成26年度 要保護・準要保護児童生徒の認定について 平成26年度区域外就学の承諾について 平成26年度通学区域外就学の承諾について 平成26年度南部町教育方針について 平成26年度南部町教育大会について 南部町立小・中学校における教育振興事業補助金交付要綱の一部を改正する訓令の制定について 県費負担教職員の異動の内申について 南部町教育委員会事務局職員の人事異動について

教育委員会事務局の組織の状況

1 教育委員会機構図



2 教育委員会事務分掌

● 学務課

【総務班】

教育委員会の会議に関すること。
教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他人事に関すること。
公印の保管に関すること。
文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。
教育予算の編成及び執行に関すること。
県費負担職員の任免その他人事に関すること。
学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
教育財産の管理に関すること。
教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること。
基幹統計及び教育に係る調査その他の統計に関すること。
県教育委員会その他の関係機関との連絡調整に関すること。
他の班の所掌に属しない事務に関すること。

【学校教育班】

校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
学校施設台帳の整備保管に関すること。
教育内容及びその取扱いに関すること。
教科用図書の採択並びに給与に関すること。
学習効果の評価に関すること。
校長及び教員その他教育関係職員の研修に関すること。
校長及び教員その他教育関係職員並びに児童、生徒の安全厚生及び福利に関すること。
学校給食に関すること。
児童及び生徒の就学に関すること。
学校保健に関すること。
学校図書館に関すること。
義務教育費国庫負担事務に関すること。
学校の産業教育、理科教育及びへき地教育の振興に関すること。
幼稚園に関すること。
児童及び生徒の交流に関すること。
奨学金に関すること。
その他学校教育に関すること。

● 社会教育課

【社会教育班】

公民館その他社会教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
社会教育委員、公民館運営審議会及び文化財審議委員に関すること。
各種教室及び学級その他社会教育講座に関すること。

社会教育関係団体の指導育成に関すること。
社会教育資料の刊行及び配布並びに情報の交換、調査研究に関すること。
文化財の保護に関すること。
郷土芸能の伝承に関すること。
社会教育のために必要な設備、機材及び資料の提供に関すること。
ユネスコ活動に関すること。
コミュニティーに関すること。
ボランティアに関すること。
青少年教育に関すること。
青少年健全育成に関すること。
家庭教育に関すること。
婦人教育に関すること。
男女共同参画事業に関すること。
生涯学習推進事業に関すること。
文書の収受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。
その他社会教育に関すること。

【社会体育班】

体育・スポーツの振興に関すること。
スポーツ推進委員に関すること。
体育関係団体の指導育成に関すること。
体育施設の管理運営及び整備に関すること。
運動公園の管理運営及び整備に関すること。
町民運動会に関すること。
スポーツ教室及びスポーツ大会に関すること。
その他社会体育に関すること。

【史跡対策室】

南部氏関連城館整備検討委員会に関すること。
南部氏史跡整備検討委員会に関すること。
国指定史跡「聖寿寺館跡」保存管理に関すること。
南部氏史跡の公有化に関すること。
南部氏史跡発掘調査に関すること。
南部氏史跡整備基本構想策定に関すること。
南部氏史跡整備及び活用に関すること。
南部氏史跡の周知に関すること。
南部氏の文献調査及び研究に関すること。
南部氏史跡対策室の経理事務に関すること。

3 教育関係予算の状況(決算)

(単位:千円)

款	項	目	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
教育費	教育総務費	教育委員会費	1,086	971	758	949	862
		事務局費	521,212	501,179	157,796	193,774	151,533
		小計	522,298	502,150	158,554	194,723	152,395
	小学校費	学校管理費	139,157	77,628	85,901	79,726	97,366
		教育振興費	24,325	22,653	30,977	20,018	19,864
		小計	163,482	100,281	116,878	99,744	117,230
	中学校費	学校管理費	91,825	47,407	46,349	56,201	70,772
		教育振興費	19,573	17,921	17,671	18,851	17,710
		小計	111,398	65,328	64,020	75,052	88,482
	幼稚園費	幼稚園管理費	62,292	45,589	45,285	32,767	32,516
		教育振興費	6,453	5,900	5,026	5,051	5,647
		小計	68,745	51,489	50,311	37,818	38,163
	社会教育費	社会教育総務費	88,852	81,838	70,400	69,386	67,398
		公民館費	121,588	29,325	22,656	31,735	43,285
		社会教育施設費	12,614	11,921	10,765	11,758	12,601
		文化財保護費	28,926	77,393	28,839	16,990	32,660
		小計	251,980	200,477	132,660	129,869	155,944
	保健体育費	保健体育総務費	72,579	65,635	56,734	56,849	49,287
		保健体育施設費	71,420	41,314	72,181	76,631	51,925
		保健体育施設整備費	145,346	26,154	—	—	—
		小計	289,345	133,103	128,915	133,480	101,212
	給食センター費	給食センター費	560,772	102,442	103,825	104,574	94,609
		小計	560,772	102,442	103,825	104,574	94,609
計			1,968,020	1,155,270	755,163	775,260	748,035
対前年比			1.13	0.62	0.61	1.02	0.93

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立福地小学校
校長 蔦林 洋司

活動名称 (テーマ)	共に学び、かかわり合いながら、豊かな心と夢をはぐくむ福地っ子プラン
事業の効果	<p>1 助産師さんや盲学校の先生、目の不自由な方、高齢者の方など、様々な立場の方のお話を聞き、体験や交流を行う中で、命の大切さを再認識し、他者の立場になって考える人権感覚を身に付けるきっかけとなった。</p> <p>2 米作り体験、野菜作り体験、昔の遊び体験、茶道文化芸能体験など、様々な体験を通して、総合的な学習の時間(わくわくタイム)の充実を図り、身近な地域のよさに気づき、地域と進んで関わろうとする気持ちが育った。</p>
実施年月日	実 施 内 容
9月3日	<p>1 人権教育の推進</p> <p>(1)命を考える体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産師による「いのちの大切さ」出前講座(5年)
9月2日 ～20日	<p>(2)少年消防クラブ・リトルJUMPチームによる安全マップ作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の危険箇所調査・安全マップ作り
10月11日	<p>(3)体の不自由な方のことを思いやる学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盲学校の先生を講師にアイマスクの体験をする。(4年) ・視覚障がい者の方の体験を聞いて、自分達ができることを考える。(3年)
12月17日	<p>(4)人権感覚を育てる学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディサービスセンターの慰問で交流する。(3年)
4月2日	<p>2 総合的な学習の時間「わくわくタイム」における体験活動の充実</p> <p>(1)米作り体験「福地のお米を自慢しよう」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業小屋で育苗体験
6月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え体験
10月3日 29日	<ul style="list-style-type: none"> ・除草作業、水質管理体験 ・稲刈り、脱穀、精米体験
11月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・バーデパークの特産品祭りで「アネコモチ」の販売体験
12月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・孔明荘で収穫祭として親子もちつき体験
6月6日	<p>(2)野菜作り体験「野菜作り名人になろう」(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の野菜作り名人を招いて、夏野菜(とうもろこし・ピーマン・なす・サツマイモ・ミニトマト・オクラ)植え体験
11月19日	<p>(3)昔の遊び会「おとしよりとあそぼう」(1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブの人を招いて、わらないや昔の遊び会(竹とんぼ・けん玉・こま・メンコ)を実施
7月11日 ～ 11月21日	<p>(4)伝統文化体験「茶道に親しもう」(全学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶道体験教室

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立福田小学校
校長 三浦 勉

活動名称 (テーマ)	福田小学校「特色ある学校経営事業」
事業の効果	確かな学力の定着と心身ともに健康な体つくりのために、「知・徳・体」の3つの観点から課題を明らかにし、その解決に向けて組織的・計画的に実践に取り組むことによって、意欲あふれる福田っ子の育成に努める。
実施月日	実 施 内 容
<p>6月～10月 (毎週2時間の授業)</p> <p>12月～2月</p> <p>1月</p> <p>1月</p> <p>10月～2月</p> <p>11月～2月</p>	<p>1 <落ち着いて学習する子の育成></p> <p>(1)バケツ稲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5学年の総合的な学習の時間「稲について」の学習で、バケツ稲を育てることで、児童は米づくりの工夫と苦労を学ぶことができた。 <p>(2)一人一鉢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1～6学年の児童一人一人に、自分で栽培したい花を用意して、植物を大切にすることを育てることができた。 <p>(3)八幡馬づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3学年の総合的な学習の時間に、八幡馬に色塗りなどをして制作をすることで、郷土の伝統工芸を学ぶことができた。 <p>(4)えんぶりのえぼしづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4学年の総合的な学習の時間に、えんぶりのえぼしを制作することで、郷土の伝統工芸と伝統行事を学ぶことができた。 <p>(5)野鳥DVD</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活科や総合的な学習の時間に、野鳥について学ぶことができた。 <p>(6)コンパクト双眼鏡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活科や総合的な学習の時間に、野鳥を観察することができた。
<p>8月～9月</p>	<p>2 <心の豊かな子・やさしく思いやりのある子の育成></p> <p>(1)マスコット作戦用材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JRC活動の一環としてマスコット作戦に向けて児童が、マスコットを作り活動することができた。
<p>6月～11月</p>	<p>3 <自分のめあてに向かって進んで努力しようとする子の育成></p> <p>(1)ワンタッチテント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町陸上記録会・郡陸上記録会・郡駅伝大会・町駅伝大会等で使用した。広いスペースを使うことで、コンディションの調整に役立った。
<p>6月～2月</p>	<p>4 <校舎内外の環境整備美化活動></p> <p>(1)花苗</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の美化のために花苗を買い、育てた。

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立杉沢小学校
校長 横田 英穂

活動名称 (テーマ)	特色ある学校経営事業
事業の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 朝読書、読み聞かせをとおして、心の糧が養われ、豊かな心を育むことができた。また、読書に対する関心も高まった。 2 農作業、焼きいもなどの自然体験活動をとおして、協力して活動する力や工夫して作業する力が育った。また、自然に対する興味や関心が高まり、自然やふるさとを大切に作る心も育っている。 3 保護者や地域の方々との交流をとおして、いろいろな方々の協力のおかげで学校生活が成り立っていることを知ることができ、感謝の気持ちを表すことができた。 4 キャリアノートの活用により、自己を見つめたり友達とのかかわりについて考えたりすることができた。
実施年月日	実施内容
4月16日 ～ 2月4日	<ol style="list-style-type: none"> 1 読書活動の推進（読み聞かせ） <ol style="list-style-type: none"> (1) 8時～8時10分の時間帯で、読み聞かせボランティアの方々の朗読を学級ごとに聞く。(火曜日、月1～2回で13回) ・朝自習の時間を利用して読書を行う。 (月曜日と木曜日は児童のみ、金曜日は先生も一緒に行う)
6月3日 ～ 11月30日	<ol style="list-style-type: none"> 2 体験活動の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭という一連の活動を、保護者や地域の方々の協力のもとで行う。 (2) 全校で焼きいも体験を行う。 (3) 保護者や地域の方々をお招きして収穫祭を行う。 (学年ごとの農作業体験にかかわる発表、縄ない、俵づみ、花笠音頭の披露) 3 キャリア教育の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学年ごとにキャリアノートを活用することにより、自己を見つめる力や友達とかわる力を育てる。

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立剣吉小学校
校長 中村 正

活動名称 (テーマ)	児童の感性・個性をみがき、伸ばし、自己実現を支援する活動の推進
事業の効果	<p>1 長坂下環境保全隊の方々や名久井農業高等学校の生徒の皆さんと、農業体験活動や環境美化運動を通じて交流したことにより、地域の人々とのふれあいやコミュニケーションを深めることができた。また、児童の自然への興味関心が高まり、豊かな心の育成へと発展していった。 さらに、県教委から研究委託された「明日へはばたくあおもりっ子キャリア教育推進事業」と関連づけた活動を積極的に進めることができ、キャリア教育推進に努めることができた。</p> <p>2 購入した運動用具を活用することにより、運動環境をより整備することができた。また運動に親しみを持ちながら体力づくり運動に取り組むことができた。 さらに、運動を通して、児童同士の協力性も深めることができ、豊かな人間関係の醸成にもつながった。</p> <p>3 学習支援用品の活用により、繰り返し学習や反復練習に取り組みせ、学習内容の定着を図ることができた。 また、学習内容への興味関心も持続させることもできた。</p> <p>4 将棋やおセロ、かるた等での活動を通して、昼休み時間等を友達同士で仲良く過ごし、交流を深めることができた。 相撲のまわし締めの手順について実際に学ぶことができ、保護者の協力のもと、撲大会を円滑に運営することができた。</p>
実施年月日	実 施 内 容
5月17日	1. 4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験作業（受粉）
5月31日	2. 5年生と長坂下環境保全隊の方々との農業体験学習（田植え）
6月12日	3. 3年生と名久井農業高等学校生徒との花植え（地域花いっぱい運動）
6月14日	4. 4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験学習（摘果）
8月29日	5. 三戸郡よい歯の審査会（5年生児童1名出席）
9月3日	6. まわし締め講習会（講師：神代寿仁氏）
9月30日	7. 5年生と長坂下環境保全隊の方々との農業体験学習（稲刈り）
10月29日	8. 4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験学習（まとめ）
1月28日	9. 5年生と長坂下環境保全隊の方々との収穫感謝祭
通年	10. ヒマワリの栽培と観察、学校花壇の環境整備（3年生）
通年	11. 植物栽培の世話（JRC委員会）
通年	12. 水生生物飼育
通年	13. 体育等での体力づくり運動と運動環境の整備（陸上関係）
通年	14. 学習プリントや学習活動支援用品を活用した学習（学力定着）
通年	15. 休み時間等の友達同士の交流
通年	16. 学校教育活動等の記録と掲示

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立名久井小学校
校長 高橋 光憲

活動名称 (テーマ)	特色ある学校経営事業
事業の効果	<p>1 教育目標具現のための体験的活動への支援と環境整備の推進が図られた。 (1)生活科、理科、総合的な学習の時間による農園活動では、南部町の主力産業である農業について考えたり体験したりすることができた。 (2)地域の素材（施設・郷土料理）を活かして、見学や体験を通して、地域のよさを知り、ふるさとに対しての愛着を増すことができた。 (3)相撲大会を通じて、伝統と礼儀を重んじ、日本古来の武道にふれることができた。</p> <p>2 エネルギー環境教育を通して環境に対して意識を高揚させ、環境を保全しようとする気持ちを持たせることができた。</p> <p>3 校内にサイエンスワークショップコーナーを設置し、日常的な科学体験活動を通して追求活動への意欲づけを図ることができた。</p>
実施年月日	実施内容
10月5日	<p>1 ふるさと探検学習 (1)総合：ふるさと探検隊 (法光寺を訪ねて～座禅に挑戦しよう) <6年></p>
5月～9月 6月14日 8月23日 ～30日 10月12日 12月10日 12月～1月	<p>2 ふるさと学習 (1)農園活動：野菜を育てよう<1～6年、あじさい学級> (ジャガイモ、さつまいも、ゴーヤ、ミニトマト、ヘチマ、大根、ねぎ等) (2)如来堂川のなぞを探る<4年> (3)相撲大会を成功させよう<全校> (まわしかけ講習会～23日、学年別個人戦男子の部・女子の部～30日) (4)南部手踊りを発表しよう (5)リンゴ栽培体験<5年> (受粉、摘果、リンゴジュース加工体験) (6)「ふるさと学習」のまとめをしよう (3～6年) (アルバム、壁新聞作り等)</p>
11月1日 7日 8日 12月6日 通年	<p>3 エネルギー環境教育 (1)ものづくり体験学習 ・4年～「ソーラータワッチ君」 ・6年～「ペルチェ素子」 ・3年～「タワッチ君」 (2)「ノー電気デー」(2年、5年、6年) (2年～廃油ろうそく作り、5・6年～手作りカイロ作り)</p> <p>4 科学体験活動 (1)サイエンスワークショップコーナーの設置</p>
10月22日 11月26日	<p>5 花をそだてよう (1)1年：ヒヤシンス、クロッカス (2)全校：チューリップ</p>

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立名川南小学校
校長 中村 大安

活動名称 (テーマ)	特色ある学校経営事業
事業の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の老人クラブの方々や、保護者の方々から田植えや稲刈りの仕方を教えていただきながら米を育てる活動を通して、地域との結びつきを感じることができ、自分も地域の一員であることを実感することができた。 2 自分たちが育てた稲を定期的に観察する活動を通して、作物の生長に関心をもつ児童が増えた。 3 「餅つき蕎麦打ち会」を行うことで、収穫できた喜びや自然に感謝する気持ちを養うことができた。
実施年月日	実 施 内 容
5月31日	<ol style="list-style-type: none"> 1 田植え <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥舌内、鳥谷両老人クラブ10人、保護者5名の方々の指導をいただきながら全校児童で餅米の苗を植えた。
6月19日	<ol style="list-style-type: none"> 2 葉まき <ul style="list-style-type: none"> ・ 除草剤をまく。
6月24日	<ol style="list-style-type: none"> 3 稲の観察① <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校児童で稲の観察を行った。
7月18日	<ol style="list-style-type: none"> 4 稲の観察② <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校児童で稲の観察を行った。
9月17日	<ol style="list-style-type: none"> 5 稲の観察③ <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校児童で稲の観察を行った。
10月7日	<ol style="list-style-type: none"> 6 稲刈り <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥舌内、鳥谷両老人クラブ7人、保護者5名の方々の指導をいただきながら全校児童で餅米の稲刈りをした。
11月22日	<ol style="list-style-type: none"> 7 脱穀 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校児童で千歯こき体験を行いながら、脱穀を行った。
12月8日	<ol style="list-style-type: none"> 8 餅つき・蕎麦打ち会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方々、来賓の方々約100名を招待して、収穫祭を行った。

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立向小学校
校長 小笠原 賢治

活動名称 (テーマ)	一人一人の子どもを生かす学校づくり
事業の効果	1 様々な学習活動において、自分の考えをもち、相手の考えと比べながら、わかりやすく伝えようとする意識が高まってきた。 2 地域の指導者からナニヤドヤラを学ぶことによって、伝統文化を継承しようとする態度が育ってきた。 3 農作業体験を通して、勤労の尊さを感じながら、自然を大切にしていこうとする態度が育ってきた。
実施年月日	実 施 内 容
5月	わかば学級「野菜を育てよう」 6年生理科「ジャガイモを植えよう」 環境整備委員会「ゼラニウムを植えよう」 2年生生活科「ミニトマト・サツマイモを植えよう」 (各種苗・油かす・化成肥料)
5月16日	4年生理科「ヘチマを植えよう」
5月中旬 ～10月	4年生理科「ヘチマの育ち方の観察」(ヘチマ棚)
6月17日 ～ 7月5日	全学年「ナニヤドヤラ学習」 (指導者：中村サヨ 氏、沖田勝裕 氏)
7月5日	全学年「ナニヤドヤラコンクール」 (優秀賞トロフィー、敢闘賞メダル、メダル用リボン)
8月下旬 ～ 3月	1・2年生生活科「生き物との触れ合い活動」 (うさぎ1羽・うさぎ用ゲージ)
8月下旬 ～ 3月	各教科、領域での発表学習、話し合い活動の活性化に活用 (インタラクティブ書画カメラ・プロジェクター)
11月上旬	1年生理科「チューリップの球根を植えよう」 (球根140個) 1年生理科「チューリップの球根を植えよう」 (はな・やさいの土)
11月下旬 ～12月上旬	5年生家庭科「ごはんのみそ汁」(超耐熱ガラス鍋)
12月上旬 ～ 2月上旬	5年生家庭科「元気な毎日と食べ物」 6年生家庭科「くふうしよう楽しい食事」 (オーブントースター)

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立南部小学校
校長 田中 強

活動名称 (テーマ)	豊かな心をはぐくむ体験活動や環境づくりの活動
事業の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 多くの自然、地域、人と関わる多様な体験活動を行うことにより、地域のよさに気づき、ふるさとを大切にしようとする気持ちや受け継いでいこうとする意欲が高まり、これが豊かな心の育成に結びついた。 2 一人一人が課題をもって取り組む学習や活動を設定したことで、学ぶ楽しさや喜びを味わい、主体的に行動する姿が多く見られた。 3 図書室や校舎内外の環境整備が進み、学習環境の充実を図ることができた。
実施月日	実施内容
6月 7日 5月～11月 4月16日～ 12月10日 通年 6月 6日 9月13日 11月29日 11月13日 5月26日 8月18日 6月 5日 12月 5日 5月11日～ 通年	<ol style="list-style-type: none"> 1 自然体験・福祉体験・勤労生産体験等を取り入れた活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自然体験活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班による野外炊事 ・南部幼稚園との交流 (2) 農業体験活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家から学ぶ農業ふれあい教室 ・作る喜び、食べる喜びを味わう収穫感謝祭 <ol style="list-style-type: none"> 1・2年 サツマイモの栽培、焼きいも会 3年 りんご作り 4年 枝豆の栽培、豆しとぎ・豆腐作り 5年 米作り、もちつき会 6年 ジャガイモの栽培、調理活動 (3) 総合的な学習の時間の充実 2 豊かな心を育てるための活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 読み聞かせボランティアによる活動 (2) 読書活動の推進 (3) 異学年交流活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦 3 環境美化活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 花いっぱい運動(花壇整備) (2) 緑のカーテン作り (3) 学習環境の充実

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立福地中学校
校長 米田 清治

活動名称 (テーマ)	特色ある学校経営事業
事業の効果	<p>1 地域の人材を活用し、地域の文化、自然環境に触れさせながら、教育目標である「自ら学び自ら育つ生徒」「規律正しく心豊かな生徒」の育成に努め、「総合的な学習の時間」や「体験活動」の中で成果をあげた。</p> <p>2 「総合的な学習の時間」の学習成果を文化祭で発表した。普段は、経費節減のためにカラー印刷を制限しているが、展示発表やステージ発表に向けて、カラー印刷を活用した作品を仕上げたり、色彩豊かな絵を制作したりした。これによって主体性・表現力・課題解決能力を育成することができた。</p> <p>3 生物育成体験の「小玉スイカづくり」で「命の大切さ」「収穫の喜び」を体験させた。</p> <p>4 立志式を通じて、自分の人生を展望させ将来設計能力を育成した。</p>
実施月日	実 施 内 容
5月～10月	<p>1 「総合的な学習の時間」 (1) 文化祭用のステージ発表活動の物品づくり (2) 文化祭用の展示発表活動の物品づくり</p>
5月～9月	<p>2 生物育成体験の「小玉スイカづくり」</p>
2月10日	<p>3 「立志式」講師 齊藤 春香 氏 (弘前市文化スポーツ振興課)</p>

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立杉沢中学校
校長 田中 敬

活動名称 (テーマ)	杉中はぐくみプラン～「彩信」 一人ひとりが輝ける学びの輪～
事業の効果	<p>1 学校図書支援ボランティア活動の活性化をとおして、生徒の積極的な図書室の活用が見られ、本校の目指す学校像「地域から信頼される学校」の目標達成の一助となった。</p> <p>2 日常的な音楽活動をとおして、心豊かに生きる生徒を育成し、本校の目指す学校像「元気な挨拶と音楽の溢れる学校」の目標達成の一助となった。</p>
実施年月日	実 施 内 容
<p>通年 毎週木曜日 5月18日 4月24日 通年 通年 12月19日 7月11日 2月28日</p>	<p>1 学校図書支援ボランティアによる図書室環境整備 (1) ブックカバーの貼り付け作業や、バーコードによる書籍管理を行うことで、図書室利用者が増加した。</p> <p>2 小中学区民運動会でフラッグを使用してのマスゲームを披露</p> <p>3 音楽教育の充実 (1) 本澤博路氏による全校音楽ミニコンサートの実施 (2) 毎朝夕、全校音楽を実施 (3) ハンドベルを購入し、文化祭、県中文連、立志式等で演奏を披露 (4) 福祉施設での慰問演奏を実施 (5) 前校長 野村律子氏を講師に迎え、全校合唱を年2回実施 上記の取り組みから、音楽への愛着が深まり、情操教育の一助となった。</p>
<p>2月6日</p>	<p>4 立志式記念講演会の実施 (1) はらだクリニック院長原田英也氏を講師に迎え、「中学生のころの夢」と題して講演を依頼、キャリア教育推進の一助となった。</p>
<p>通年 8月29日～</p>	<p>5 その他 (1) 生徒の活動を中心とした写真掲示を行い、また生徒へ配布する学校だよりをカラー印刷し、生徒一人ひとりの活躍の紹介に努めた。</p> <p>(2) 県教委作成のキャリアノート活用のため、全校生徒分のファイルを購入し、キャリア教育の推進に努めた。</p>

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立名川中学校
校長 加藤 司

活動名称 (テーマ)	特色ある学校経営事業
事業の効果	<p>事業を通して、生徒に「豊かな人間性や社会性」、「国際社会に生きる日本人としての自覚」を育成することができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 郷土に希望と誇りをもち、地域の伝統を受け継ぎ、郷土を愛する心を育成することができた。 2 地域の人々との触れ合いを通して、さまざまな「生き方」に 感じ、自分の生き方を探らせることができた。 3 志に向けたL S (ライフスタイル) の確立を推進することができた。 4 教科センター方式を活かした主体的な学習活動を推進することができた。
実施月日	実 施 内 容
<p>9月8日 ～10日</p> <p>10月19日 2月8日</p> <p>7月～10月 11月7日</p> <p>9月19日</p> <p>10月</p> <p>9月8日 ～10日 2月8日</p> <p>通年</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 郷土理解学習 <ol style="list-style-type: none"> (1)全校生徒が名川秋まつりに参加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ お通り、お還りのパレード (ブラスバンド・よさこい・名川中学校山車・各町内の山車等) (2)1学年生徒が文化祭や南部地方えんぶりでえんぶりを披露した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 摺り始め、松の舞、大黒舞、恵比寿舞、田打ち、代だし、苗取り、苗運び、田植え、田の草取り、休み餅、稲取り、脱穀、俵積み、米つき、摺り納め 2 全学年で総合的な学習の時間を利用して体験活動を実施した。1年「えんぶり」、3年「表現・創作活動」では地域の方々から学習支援をしていただいた。1年「いのちの大切さ講座」では講師を招いて学習した。 <ol style="list-style-type: none"> (1)1年総合「えんぶり」 郷土理解学習と同じ。 (2)1年総合「いのちの大切さ講座」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 命の重み、自分を大切にすることを学んだ。 (3)2年総合「農業体験学習」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の農家の協力を得て、リンゴ・梨・ぶどう・桃等の果樹栽培、食用菊・イチゴ等の園芸栽培等の体験をした。 (4)3年総合 「表現・創作活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ サックス、三味線を学び、文化祭で披露した。 ・ 郷土の食材を活用した弁当を作った。 ・ 山車 郷土理解学習と同じ。 3 主体的な学習活動 <ol style="list-style-type: none"> (1)ワイヤレスアンプ <ul style="list-style-type: none"> ・ 名川秋祭りや南部地方えんぶり等の野外活動の音響で使用した。 (2)模造紙・ラミネート <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒活動のまとめや写真をラミネートしてメディアスペースに展示し、学び会える環境づくりを行った。

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立南部中学校
校長 石毛 清八

活動名称 (テーマ)	「南中愛 ～切磋琢磨～」
事業の効果	生徒会活動テーマ（「南中愛 ～切磋琢磨～」）を基盤とし、豊かな人間性や生きる力と夢をはぐくむ生徒を育成するため、「明るいあいさつ」「さわやかな身なり」「健康生活」の確立を図れた。また、自主的な生徒活動の推進に取り組み、教育目標達成の一助となり、学校教育を推進することができた。
実施年月日	実 施 内 容
<p>5月下旬～</p> <p>12月3・4日</p> <p>6月26日</p> <p>5月～2月</p> <p>5月19日</p> <p>7月16日</p> <p>10月12日</p> <p>10月19日</p> <p>11月27日</p> <p>1月31日</p> <p>11月1日</p> <p>5月19日</p> <p>5月～2月</p>	<p>1 学習支援</p> <p>(1) 学校農園での野菜の栽培への支援 収穫後、栽培経験をしたことにより、生命の大切さなど、食育とも合わせて理解を深められた。</p> <p>(2) 職場体験活動（1学年 職場訪問による体験活動）への支援。</p> <p>(3) JRC活動として幼稚園・保育園訪問し、園児と一緒におもちゃ作りをするなど、交流することができた。</p> <p>(4) 図書室の環境整備を図ることにより、生徒の読書活動をより一層推進することができた。</p> <p>2 行事支援</p> <p>(1) 体育祭各軍や全体に関わるマスコットづくりなどの活動をとおして、学年を超えた団結力や連帯感を高めることができた。</p> <p>(2) 「いのちの大切さ」出前講座を活用し、ポピィ助産師オフィス代表木村とも子氏を講師に迎え講演会を行い、生徒には、改めていのちの大切さを考える機会を与えることができた。</p> <p>(3) 合唱コンクールや文化祭におけるステージ発表や展示をより充実させることができた。</p> <p>(4) 救命救急法講習会を実施することで、緊急時でも落ち着いて対応する大切さを学ぶことができた。</p> <p>(5) 立志式において、「いい男といい女」と題して、八戸学院光星高校校長補佐の小野寺實氏を講師に迎え講演会を行い、今までの自分を振り返り将来について、改めて考える良い機会となった。また、保護者においては、子どもの成長を知る機会となり、生徒、保護者、職員の良好な人間関係づくりの場となっている。</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 英語弁論大会等文化的活動への支援</p> <p>(2) 校内装飾環境、校内環境美化への支援</p> <p>(3) 図書室環境整備への支援</p>

